



株式会社夢真ホールディングス  
YUMESHIN HOLDINGS CO.,LTD.

2018年9月期  
**決算説明会**  
～第2四半期～

2018年5月22日版

2018年9月期/  
September, 2018  
証券コード/  
Securities code  
**2362**

# CONTENTS

**連結決算概要** … P4

---

**セグメント別概要** …P23

---

**下半期について** …P47

---

**株主還元方針** …P59

---

**ご参考** …P64

---

# 事業ポートフォリオ

[FY17/Q4]

報告セグメント	会社名
建築技術者派遣	夢真ホールディングス
エンジニア派遣	夢テクノロジー
教育関連	夢エデュケーション 建設資格推進センター
IT関連	夢ソリューションズ ギャラクシー Keepdata
その他	夢エージェント YUMEAGENT PHILIPPINES YUMEAGENT VIETNAM

[FY18/Q2]

報告セグメント	会社名
建設技術者派遣	夢真ホールディングス
エンジニア派遣	夢テクノロジー クルンテープ
その他	夢エージェント YUMEAGENT PHILIPPINES YUMEAGENT VIETNAM 夢エデュケーション 建設資格推進センター 夢ソリューションズ

セグメント区分変更

# 連結決算概要

連結決算概要

## 連結P/Lの状況

# 連結P/Lの状況

## 売上高

+33.2%

## 営業利益

+100.5%

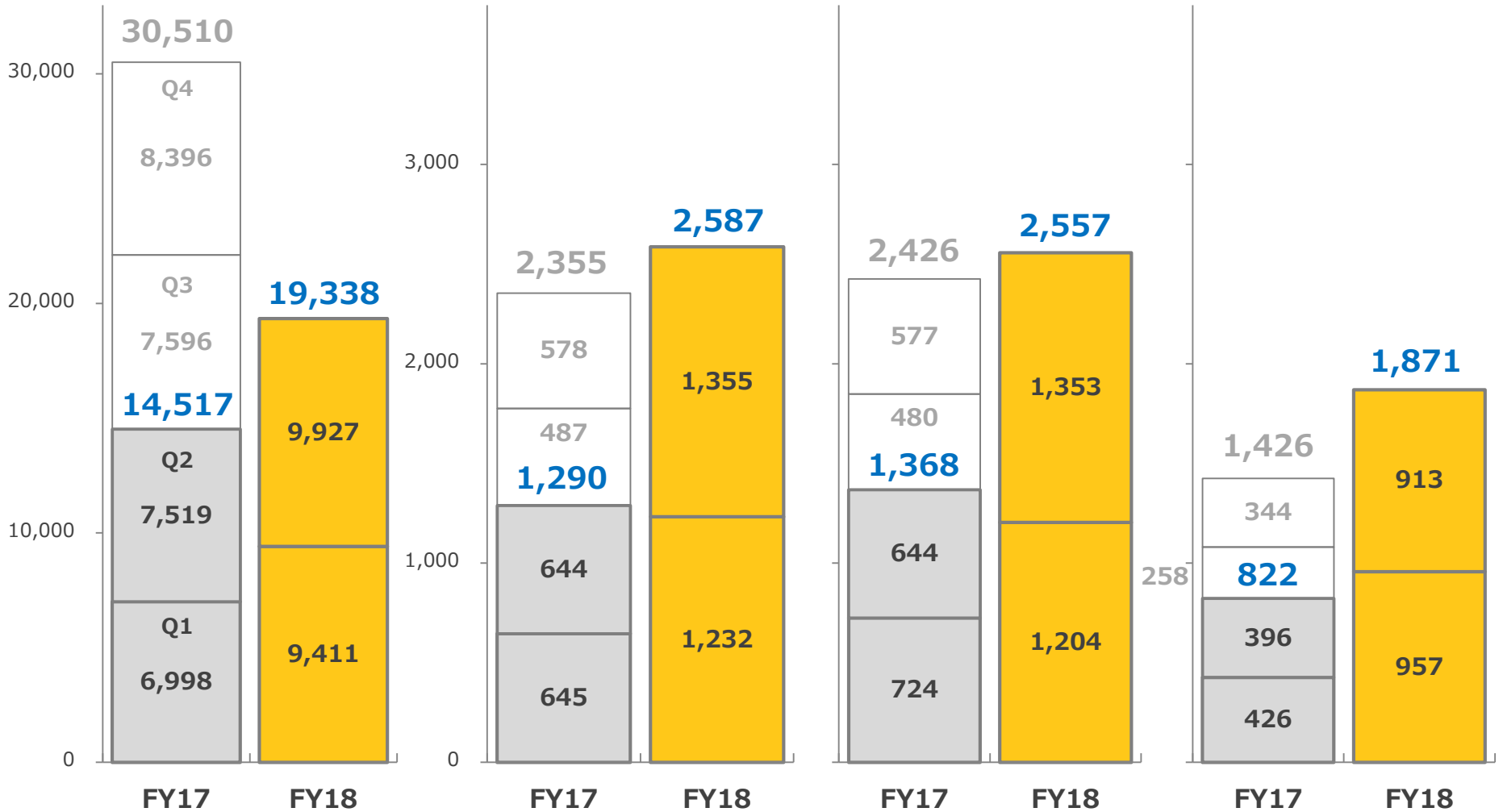
## 経常利益

+86.9%

## 親会社株主に帰属する 当期純利益

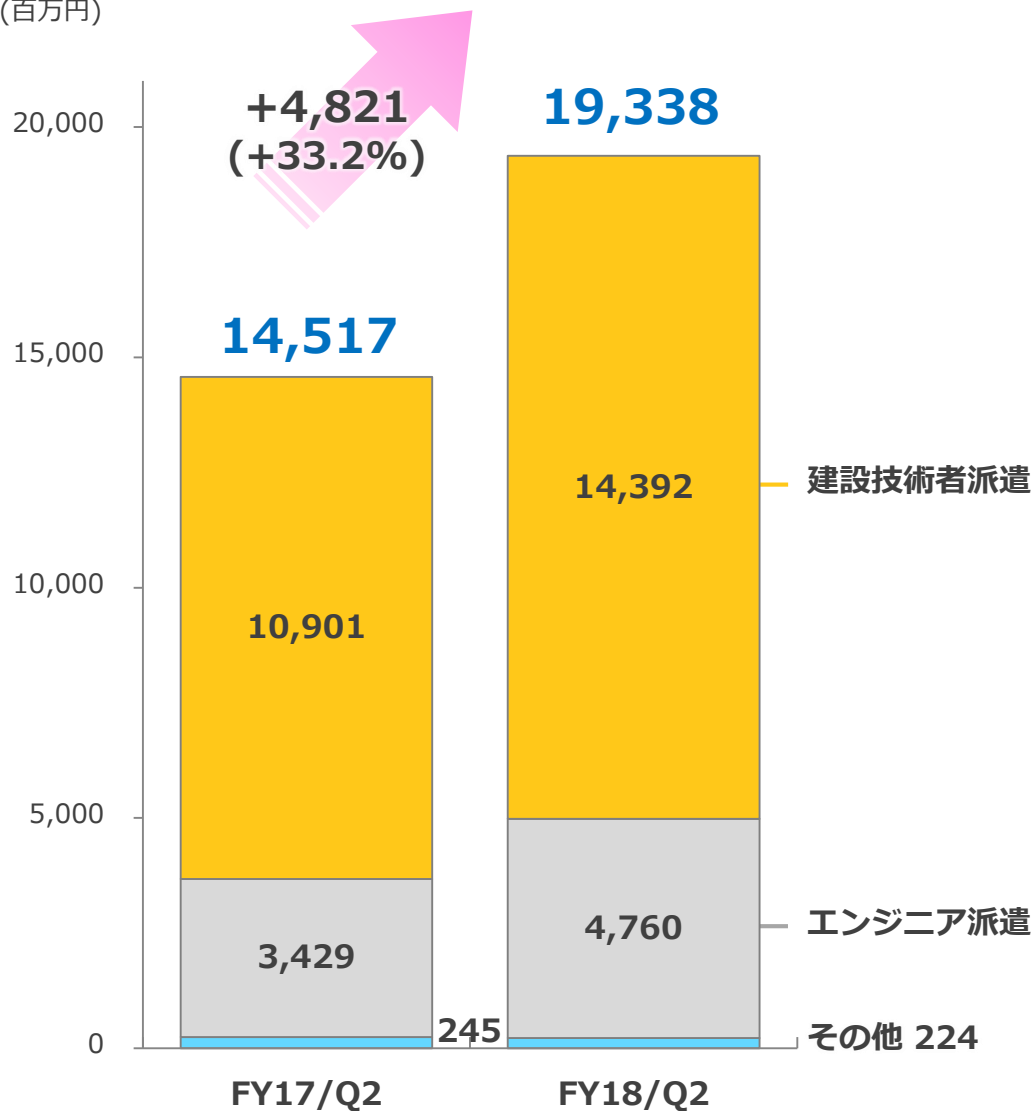
+127.4%

(百万円)



# 連結P/L (1) 売上高

(百万円)



## [主な増減要因]

**建設技術者派遣** +3,490百万  
(+32.0%)

■ 稼働人数の増加、派遣単価の上昇による増収

**エンジニア派遣** +1,331百万  
(+38.8%)

■ 稼働人数の増加、派遣単価の上昇による増収

**その他** ▲21百万  
(▲8.6%)

■ 不採算事業の撤退・縮小による減収

※ 増減要因には上記の他に「連結消去 +20百万円」が含まれます。

# 連結P/L (2) 販売費及び一般管理費

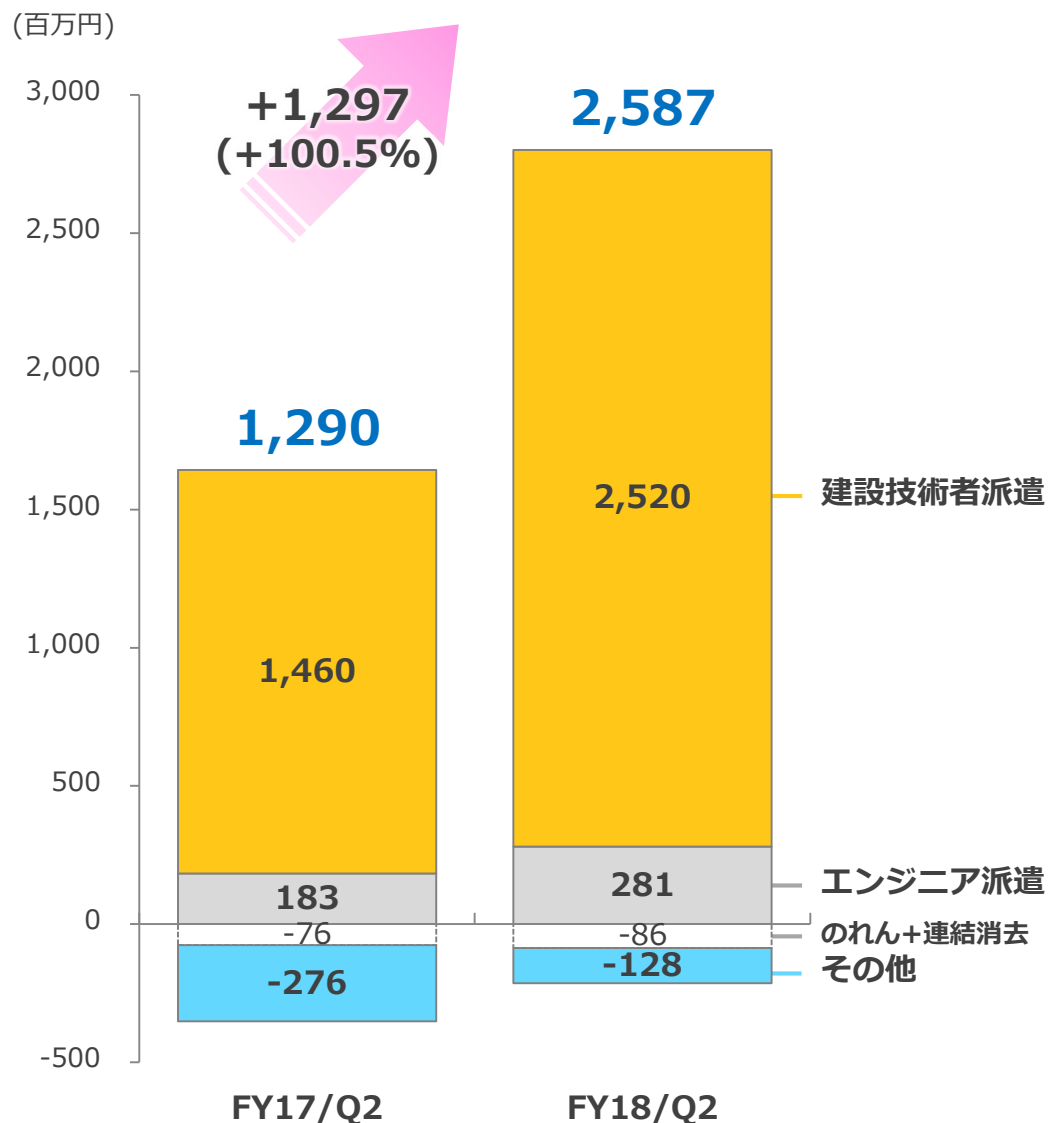
(百万円)

	FY17/Q2	FY18/Q2	増減額	摘要
売上原価	10,258	13,388	+3,129	技術者の増員による増加
売上原価率	70.7%	69.2%	▲1.4pt.	
売上総利益	4,258	5,950	+1,691	
売上総利益率	29.3%	30.8%	+1.4pt.	稼働率の上昇による改善
<b>販売費及び一般管理費</b>	<b>2,968</b>	<b>3,363</b>	<b>+394</b>	
役員報酬	88	76	▲11	
<b>人件費</b>	<b>1,291</b>	<b>1,582</b>	<b>+290</b>	営業員の増員による増加
広告宣伝費	32	29	▲3	
<b>採用費</b>	<b>730</b>	<b>770</b>	<b>+39</b>	効率的な採用活動により微増に留まる
地代家賃	178	256	+78	
業務委託費	178	141	▲36	
のれん償却額	109	101	▲8	
<b>販管費率</b>	<b>20.4%</b>	<b>17.4%</b>	<b>▲3.0pt.</b>	

※ 人件費 = 給与及び手当 + 旅費及び交通費 + 賞与 + 法定福利費 + 福利厚生費 + 退職給付費用 (役員含まず)



# 連結P/L (3) 営業利益



## [主な増減要因]

**建設技術者派遣** +1,059百万 (+72.6%)

■ 稼働率・派遣単価の上昇による増益

**エンジニア派遣** +98百万 (+53.5%)

■ 派遣単価の上昇による増益

**その他** +148百万 (+53.6%)

■ 不採算事業の撤退・縮小  
■ 建設・製造業界への人材紹介が堅調

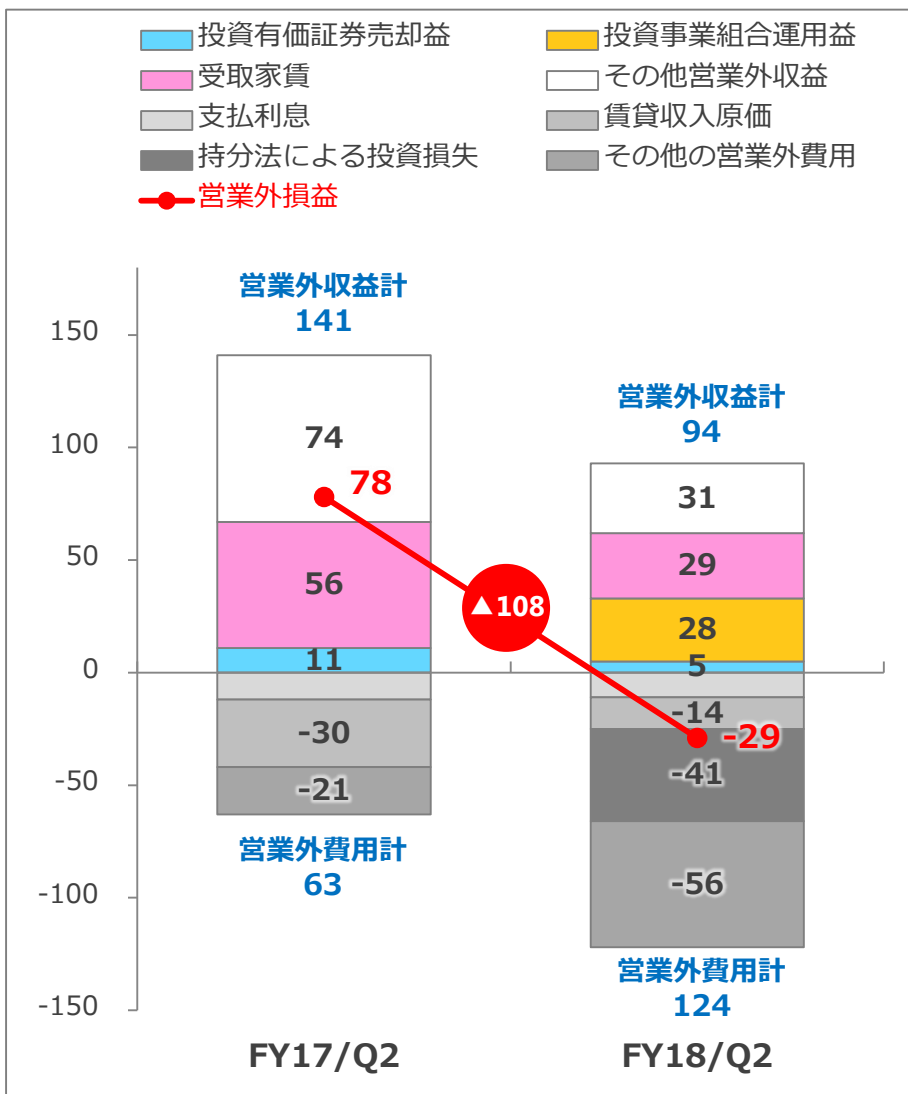
※ 増減要因には上記の他に「のれん+連結消去 ▲9百万円」が含まれます。

# 連結P/L (4) 営業外損益・経常利益

(百万円)

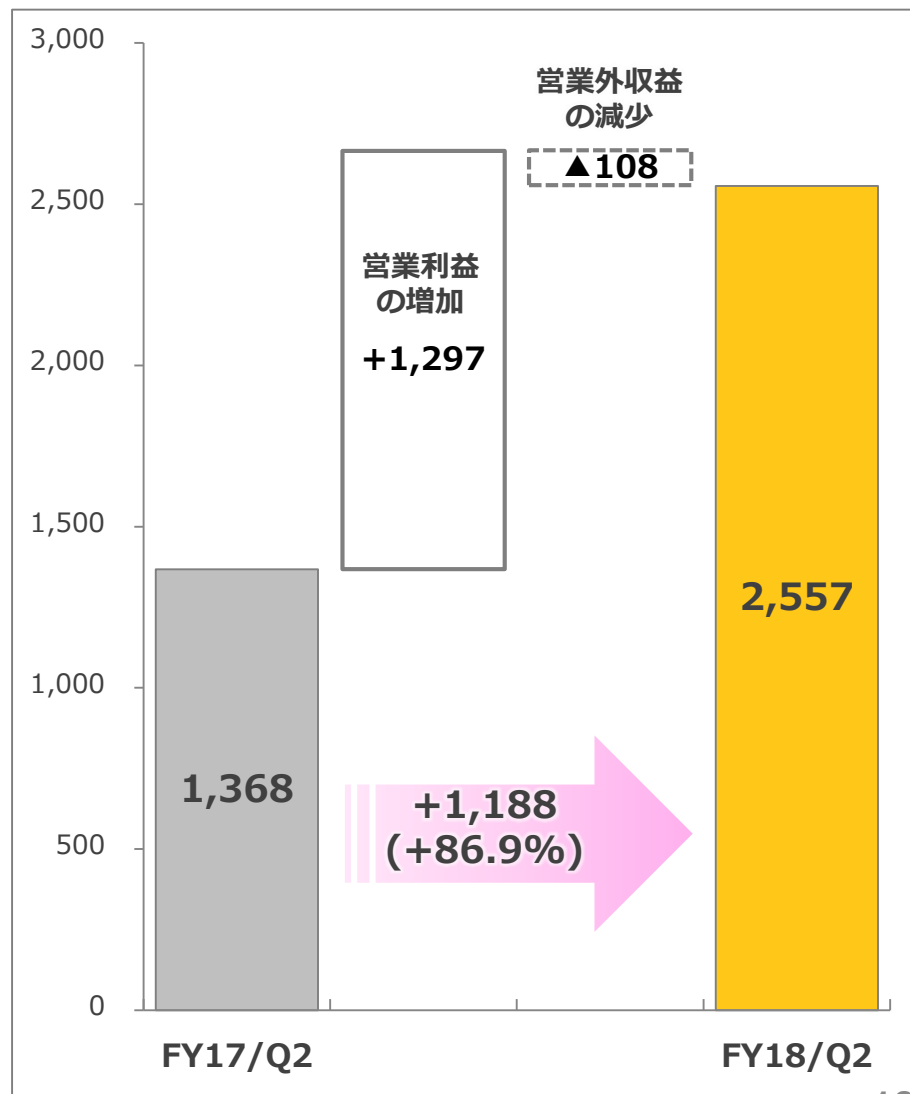
## 営業外損益

- 投資有価証券売却益
- 投資事業組合運用益
- 受取家賃
- その他営業外収益
- 支払利息
- 賃貸収入原価
- 持分法による投資損失
- その他の営業外費用
- 営業外損益



(百万円)

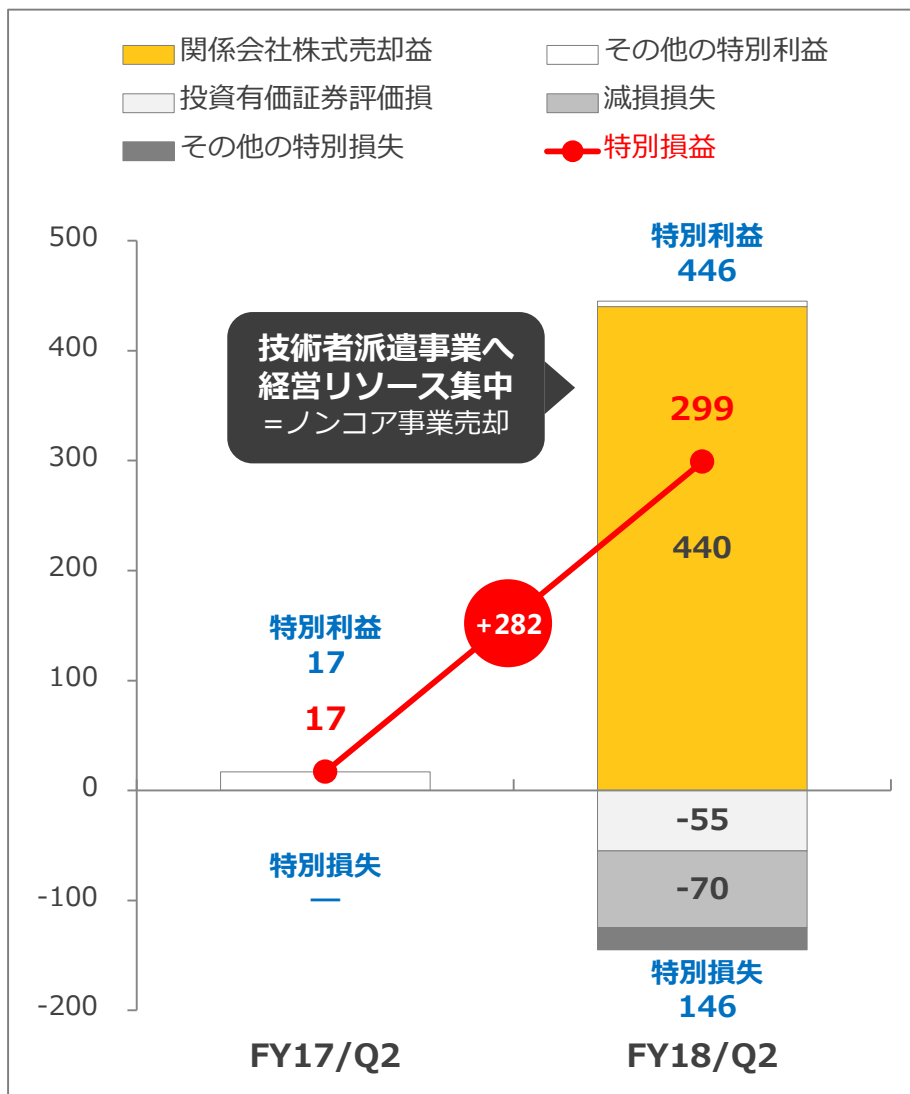
## 経常利益



# 連結P/L (5) 特別損益・四半期純利益

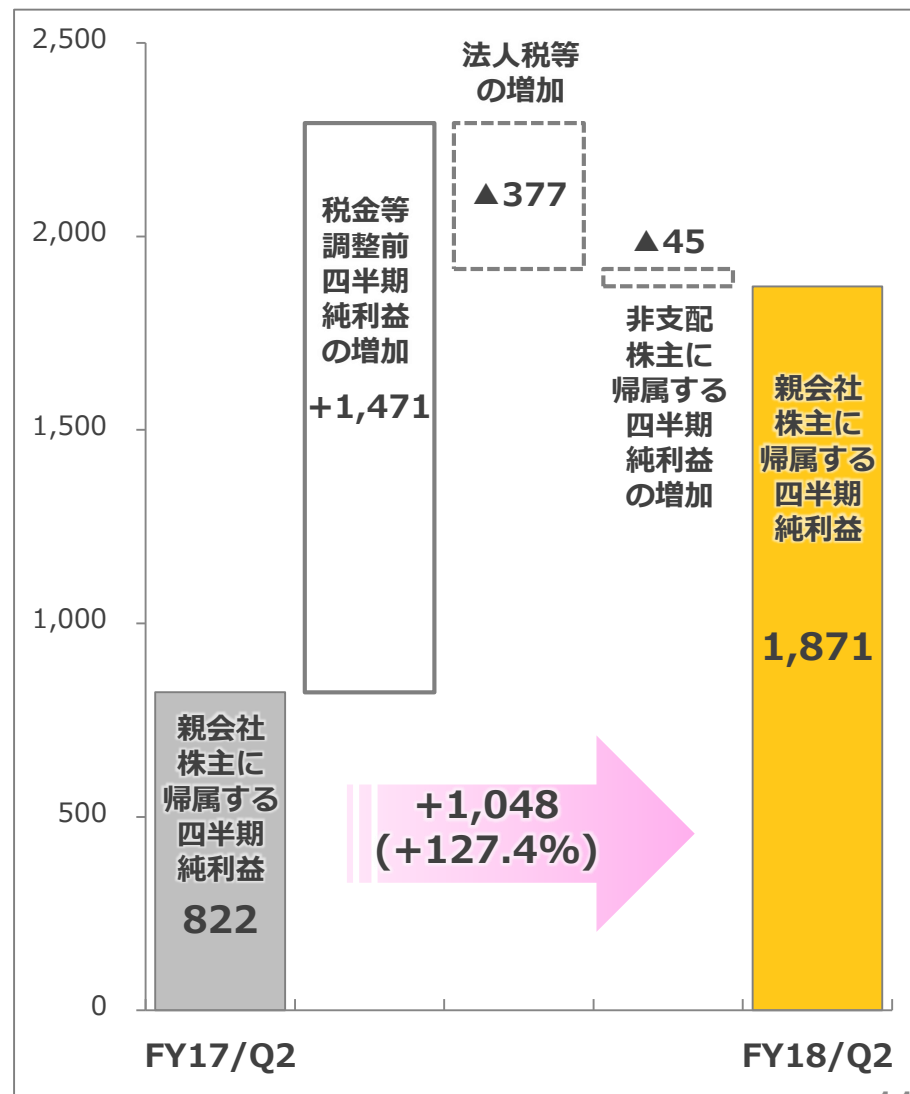
(百万円)

## 特別損益



(百万円)

## 四半期純利益



# 連結 P/L サマリー

(百万円)

	FY17/Q2	FY18/Q2	増減額	増減率
売上高	14,517	19,338	+4,821	33.2%
売上総利益	4,258 (29.3%)	5,950 (30.8%)	+1,691	39.7%
販売費及び一般管理費	2,968 (20.4%)	3,363 (17.4%)	+394	13.3%
営業利益	1,290 (8.9%)	2,587 (13.4%)	+1,297	100.5%
経常利益	1,368 (9.4%)	2,557 (13.2%)	+1,188	86.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	822 (5.7%)	1,871 (9.7%)	+1,048	127.4%

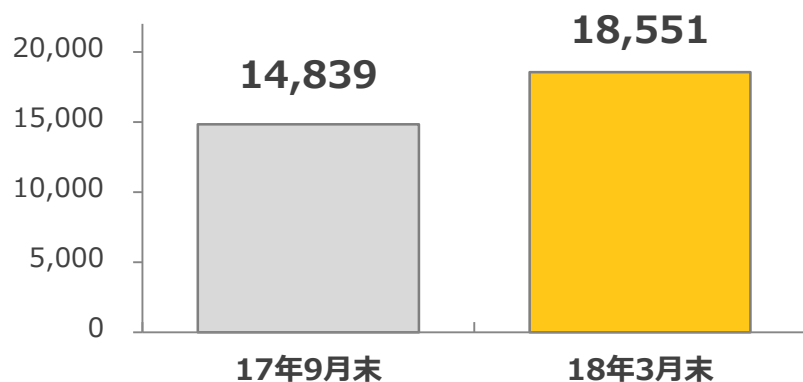
※ ( ) = 売上高比率

## 連結B/Sの状況

# 連結B/Sの状況

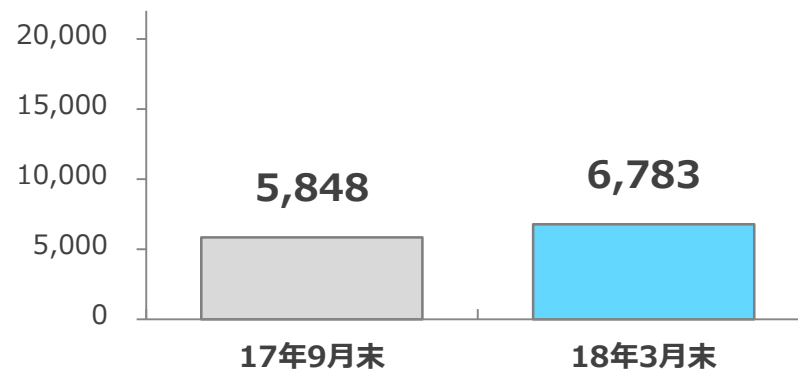
## 流動資産

(百万円)



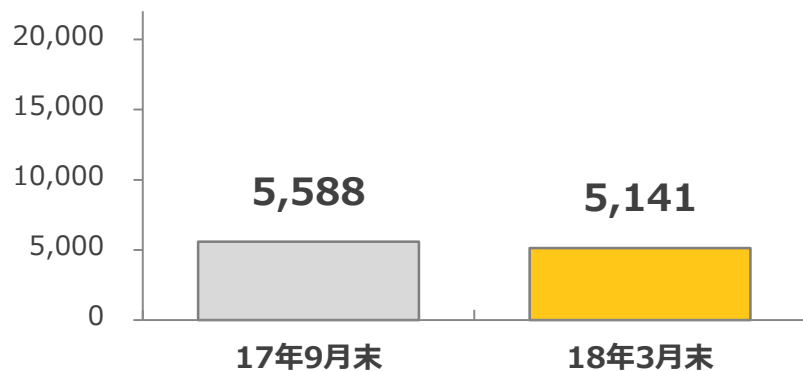
## 流動負債

(百万円)



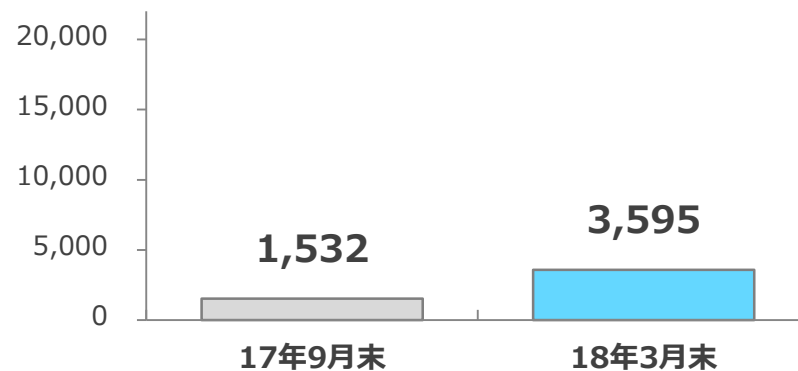
## 固定資産

(百万円)



## 固定負債

(百万円)



# 連結B/S (1) 資産の部

(百万円)

	2017年9月末	2018年3月末	増減額	摘要
<b>資産の部</b>	<b>20,491</b>	<b>23,707</b>	<b>+3,246</b>	
流動資産	14,839	18,551	+3,712	
現金及び預金	8,555	11,394	+2,838	
受取手形及び売掛金	4,853	5,751	+897	派遣先の増加による増加
繰延税金資産	238	293	+55	
預け金	434	430	▲3	
貸倒引当金	▲30	▲35	▲5	
固定資産	5,588	5,141	▲446	
有形固定資産	1,080	969	▲110	
建物及び構築物	489	444	▲45	
工具、器具及び備品	64	110	+45	
土地	505	395	▲110	
無形固定資産	1,059	970	▲89	
のれん	898	859	▲39	
ソフトウェア	146	86	▲60	IT関連事業の縮小による減少
投資その他の資産	3,447	3,201	▲246	
投資有価証券	2,601	2,348	▲252	関係会社株式の売却による減少
繰延税金資産	23	87	+63	
差入敷金保証金	477	461	▲16	
不動産	239	237	▲2	
貸倒引当金	▲35	▲40	▲4	

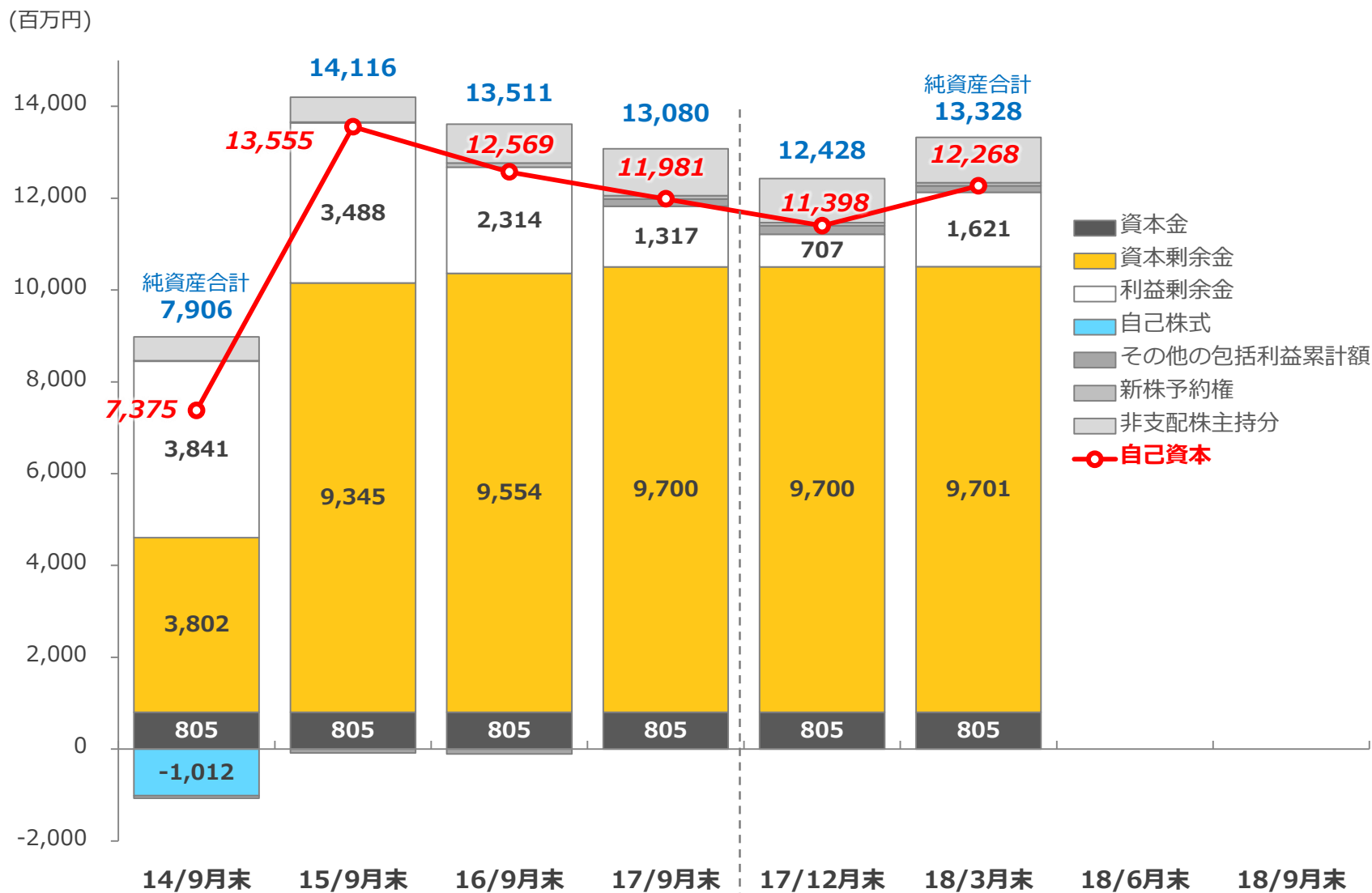
# 連結B/S (2) 負債・純資産の部

(百万円)

	2017年9月末	2018年3月末	増減額	摘要
<b>負債+純資産</b>	<b>20,461</b>	<b>23,707</b>	<b>+3,246</b>	
<b>負債の部</b>	<b>7,380</b>	<b>10,378</b>	<b>+2,998</b>	
<b>流動負債</b>	<b>5,848</b>	<b>6,783</b>	<b>+935</b>	
買掛金	25	9	▲15	
短期借入金	915	900	▲15	
1年内返済予定の長期借入金	817	1,281	+464	
未払金	612	292	▲320	
未払法人税等	653	1,075	+421	
未払費用	1,408	1,727	+319	
賞与引当金	458	574	+115	
<b>固定負債</b>	<b>1,532</b>	<b>3,595</b>	<b>+2,062</b>	
長期借入金	1,045	3,117	+2,072	運転資金の借入による増加
退職給付に係る負債	278	294	+16	
<b>純資産の部</b>	<b>13,080</b>	<b>13,328</b>	<b>+247</b>	
<b>株主資本</b>	<b>11,823</b>	<b>12,128</b>	<b>+305</b>	
資本金	805	805	—	
資本剰余金	9,700	9,701	+0	
利益剰余金	1,317	1,621	+304	FY18/Q1+Q2純利益 - FY17期末配当
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>158</b>	<b>140</b>	<b>▲18</b>	
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>164</b>	<b>149</b>	<b>▲15</b>	
<b>新株予約権</b>	<b>72</b>	<b>72</b>	<b>+0</b>	
<b>非支配株主持分</b>	<b>1,026</b>	<b>986</b>	<b>▲39</b>	



# 連結B/S (3) 自己資本推移

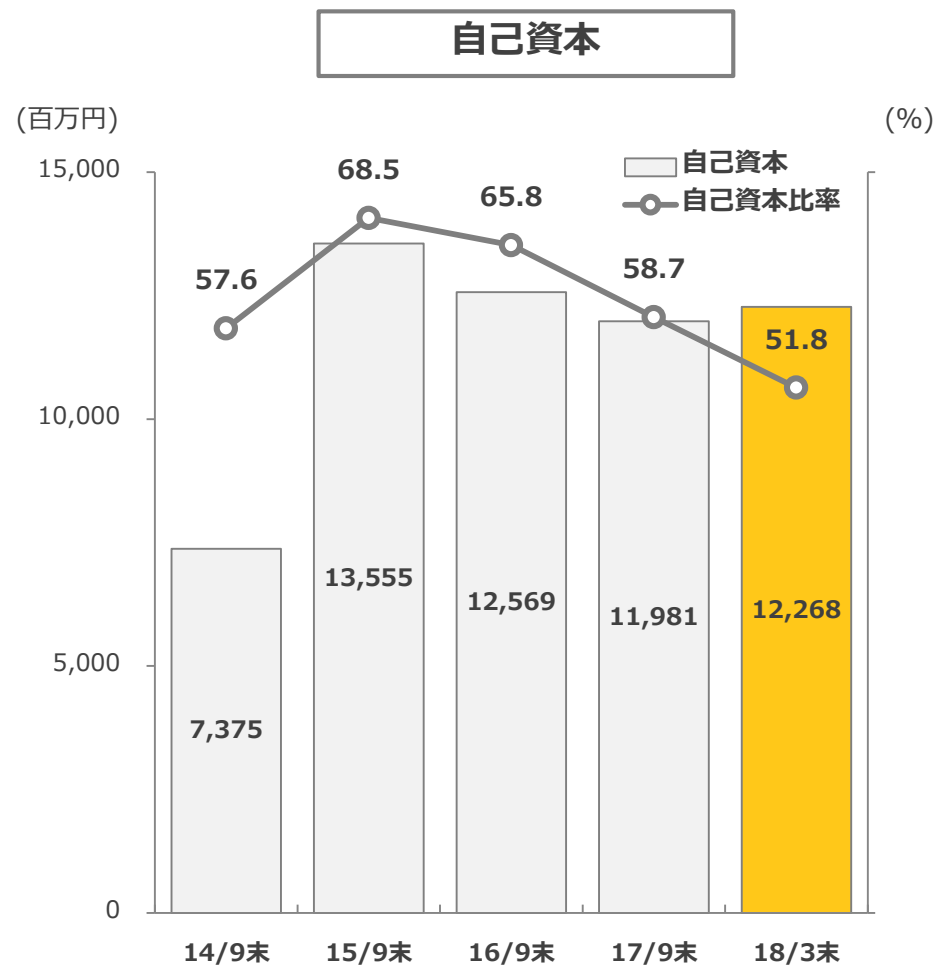
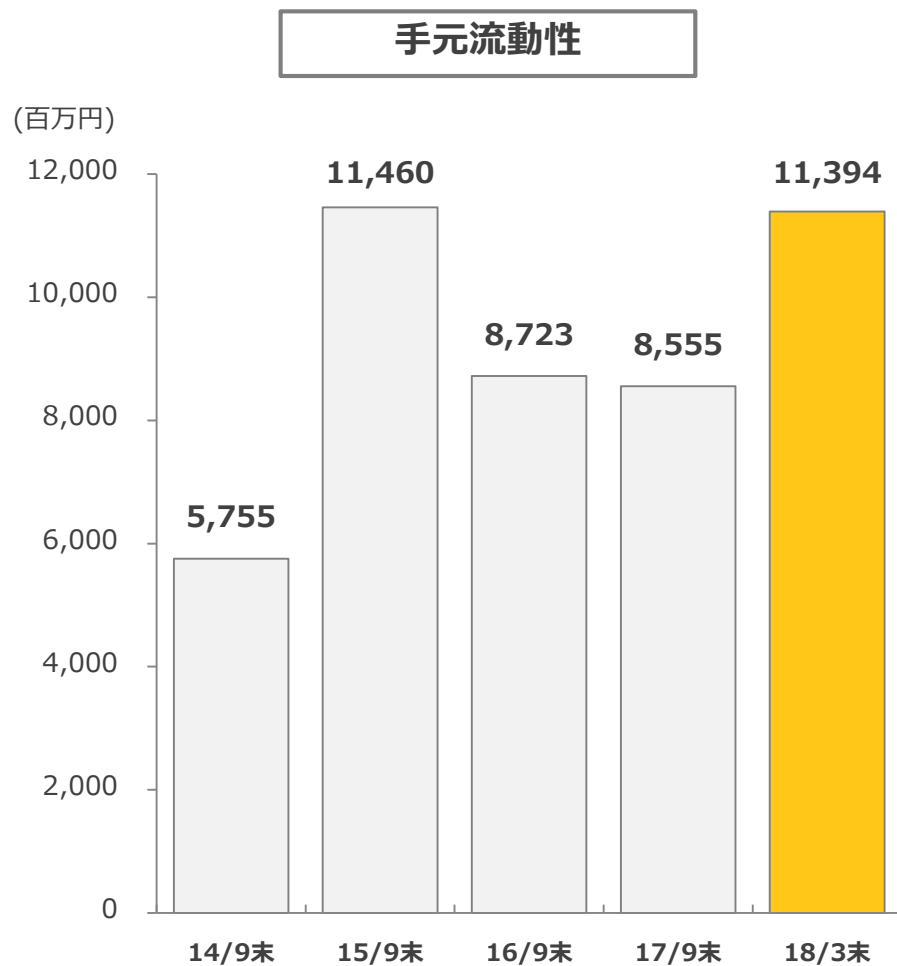


※ 自己資本 = 純資産 - 非支配株主持分 - 新株予約権

FY2018

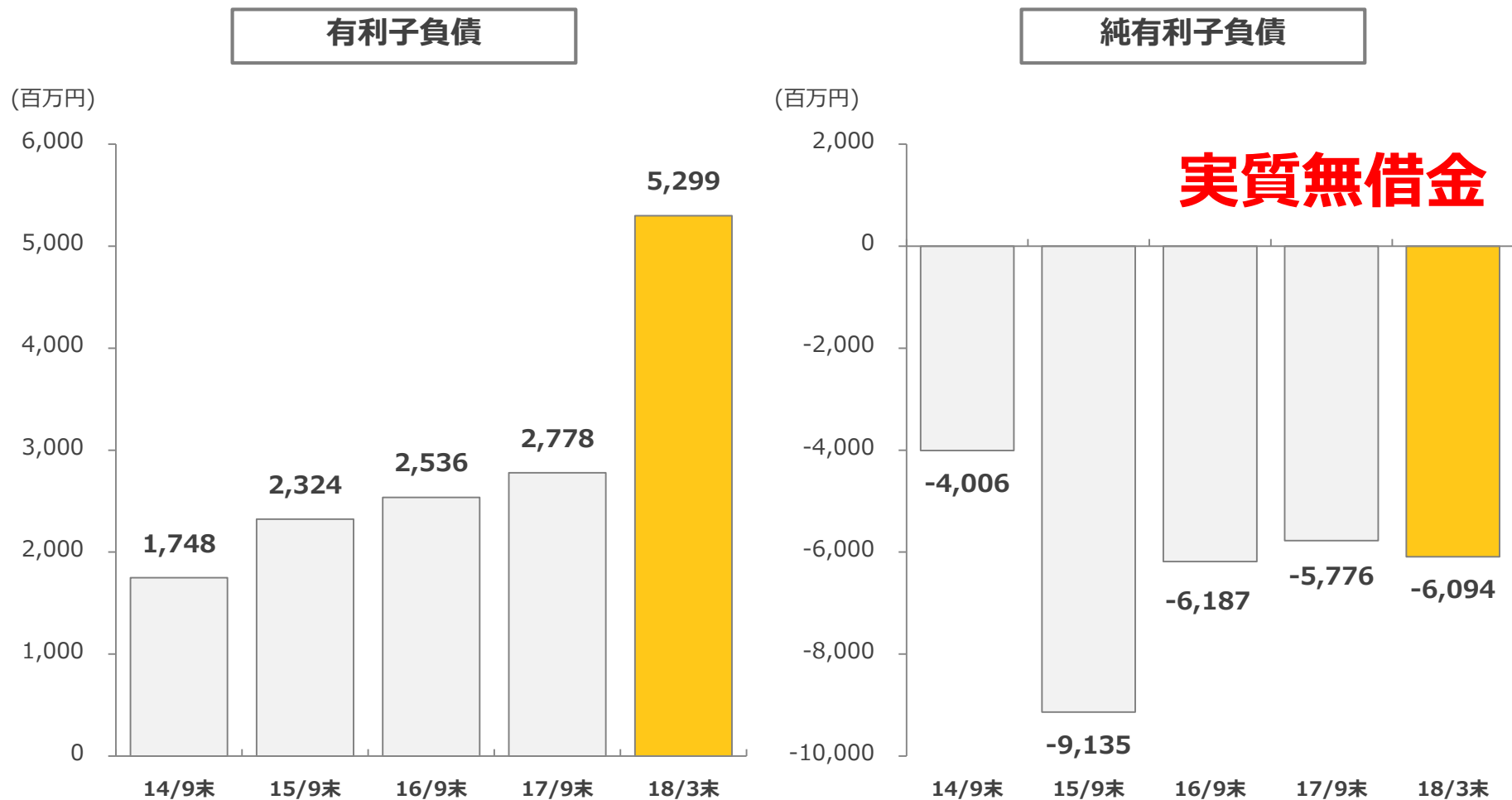
## 財務指標

# 財務指標（1）手元流動性・自己資本



- ※ 1. 手元流動性 = 現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券  
 2. 自己資本 = 純資産 - 非支配株主持分 - 新株予約権  
 3. 自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資産

# 財務指標（2）有利子負債

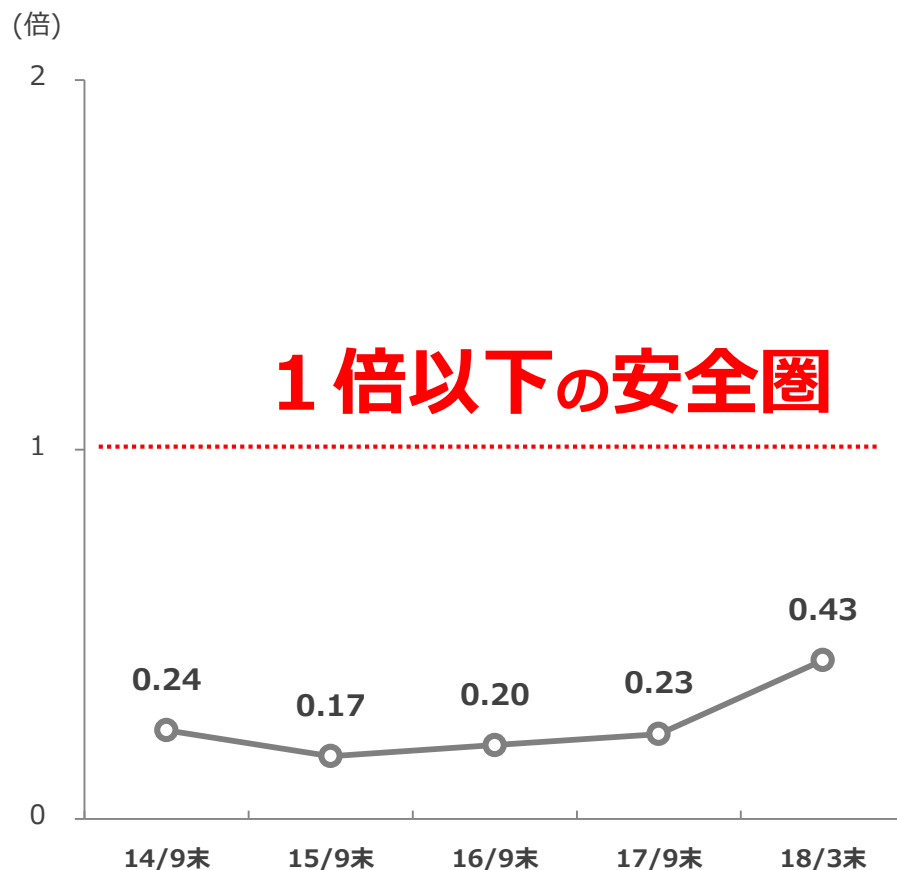
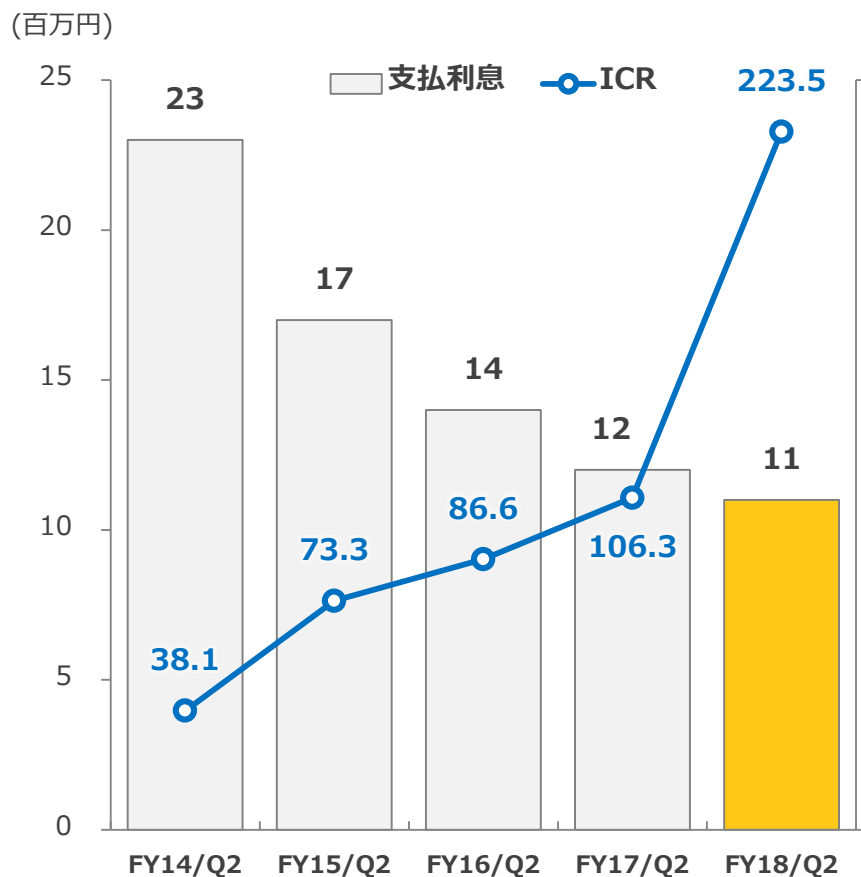


- ※ 1. 有利子負債 = 短期借入金 + 長期借入金 + 一年以内返済予定長期借入金 + 社債(リース負債含まず)
- 2. 純有利子負債 = 有利子負債 - 手元流動性
- 3. 手元流動性 = 現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券

# 財務指標 (3) ICR・DER

ICR

DER



- ※ 1. インタレスト・カバレッジ・レシオ (ICR) = 事業利益 ÷ 支払利息
- 2. 事業利益 = 営業利益 + 受取利息 + 受取配当金 + 持分法による投資損益
- 3. D/Eレシオ (DER) = 有利子負債 ÷ 自己資本
- 4. 有利子負債 = 短期借入金 + 長期借入金 + 一年以内返済予定長期借入金 + 社債 (リース負債含まず)

# 財務指標 サマリー

(百万円)

	'17年9月末	'18年3月末	増減
自己資本	11,981	12,268	+286
自己資本比率	58.7%	51.8%	▲6.8pt.
手元流動性	8,555	11,394	+2,838
有利子負債	2,778	5,299	+2,520
D/Eレシオ	0.23倍	0.43倍	+0.20pt.

# セグメント別概要

## 建設技術者派遣事業



技術者数

×

稼働率

×

稼働時間

×

派遣単価



売上高

# 技術者数（1）採用実績

- 年間採用目標2,500人
- 一人当たり採用コストは前年同期比 ▲18%

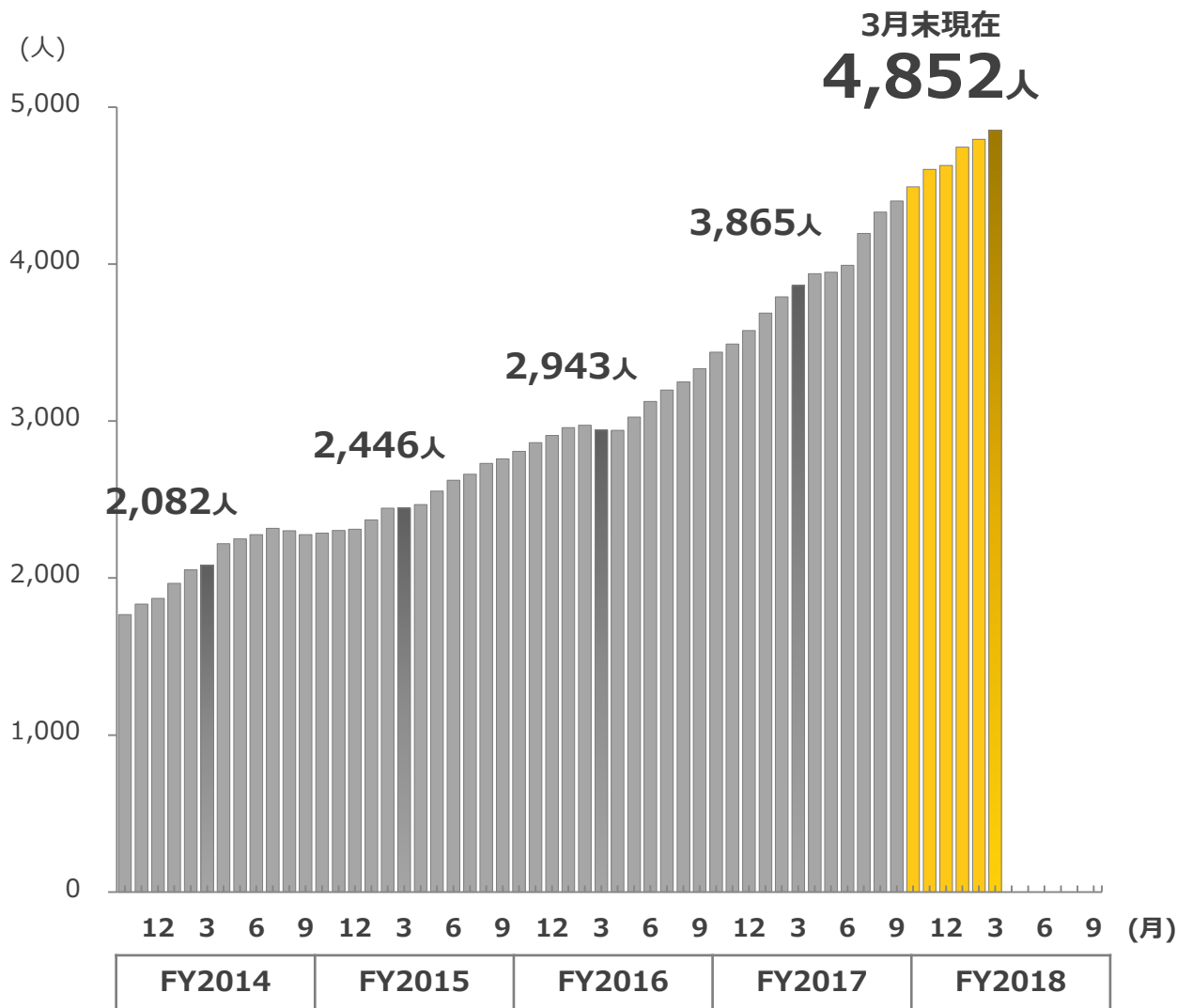
(単位：人)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10～3月 累計
FY17 採用実績	553			602			1,155
FY18 採用実績	698			673			1,371
増減	+145			+71			+216

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4～9月 累計	10～9月 累計
FY17 採用実績	710			801			1,511	2,666
FY18 採用実績								
増減								

# 技術者数（2） 在籍人数の推移

■ 前年同月末比 987人増加 (+25.5%)



平均技術者数 6ヶ月平均 (10~3月)		
FY	技術者数	YoY
FY14/Q2	1,929人	
FY15/Q2	2,360人	+22.4%
FY16/Q2	2,909人	+23.2%
FY17/Q2	3,642人	+25.2%
FY18/Q2	4,686人	+28.7%

※ 各月末技術者数

# 技術者数 (3) 定着率の推移

## ■ 継続的な改善策で70%以上の目標

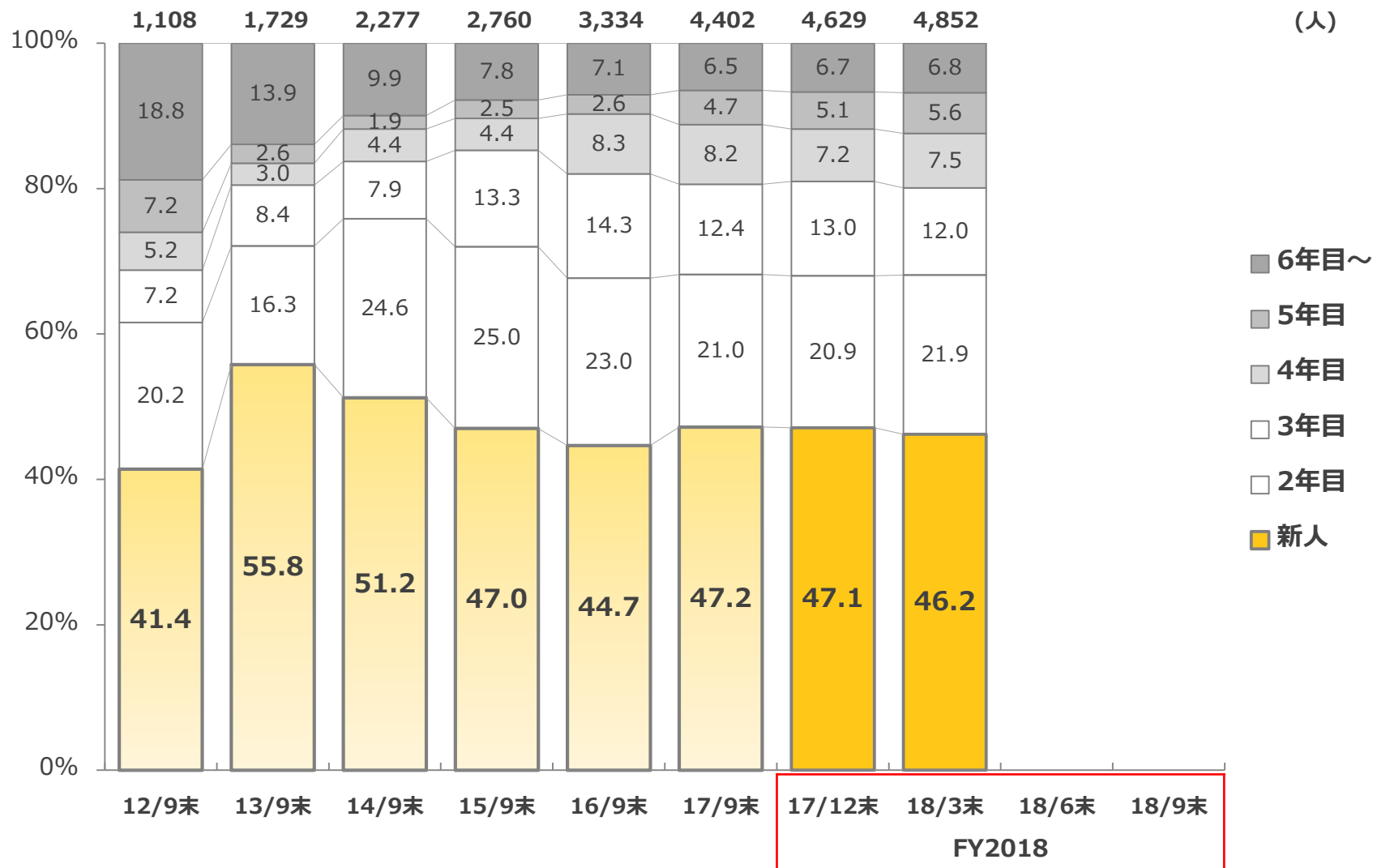


平均定着率 6ヶ月平均 (10~3月)		
FY2014	72.8%	YoY
FY2015	66.3%	▲6.5pt.
FY2016	68.4%	+2.0pt.
FY2017	72.9%	+4.5pt.
FY2018	72.2%	▲0.6pt.

※ 定着率 = 集計時点在籍人数 ÷ (一年前在籍人数 + 一年間入社人数) × 100

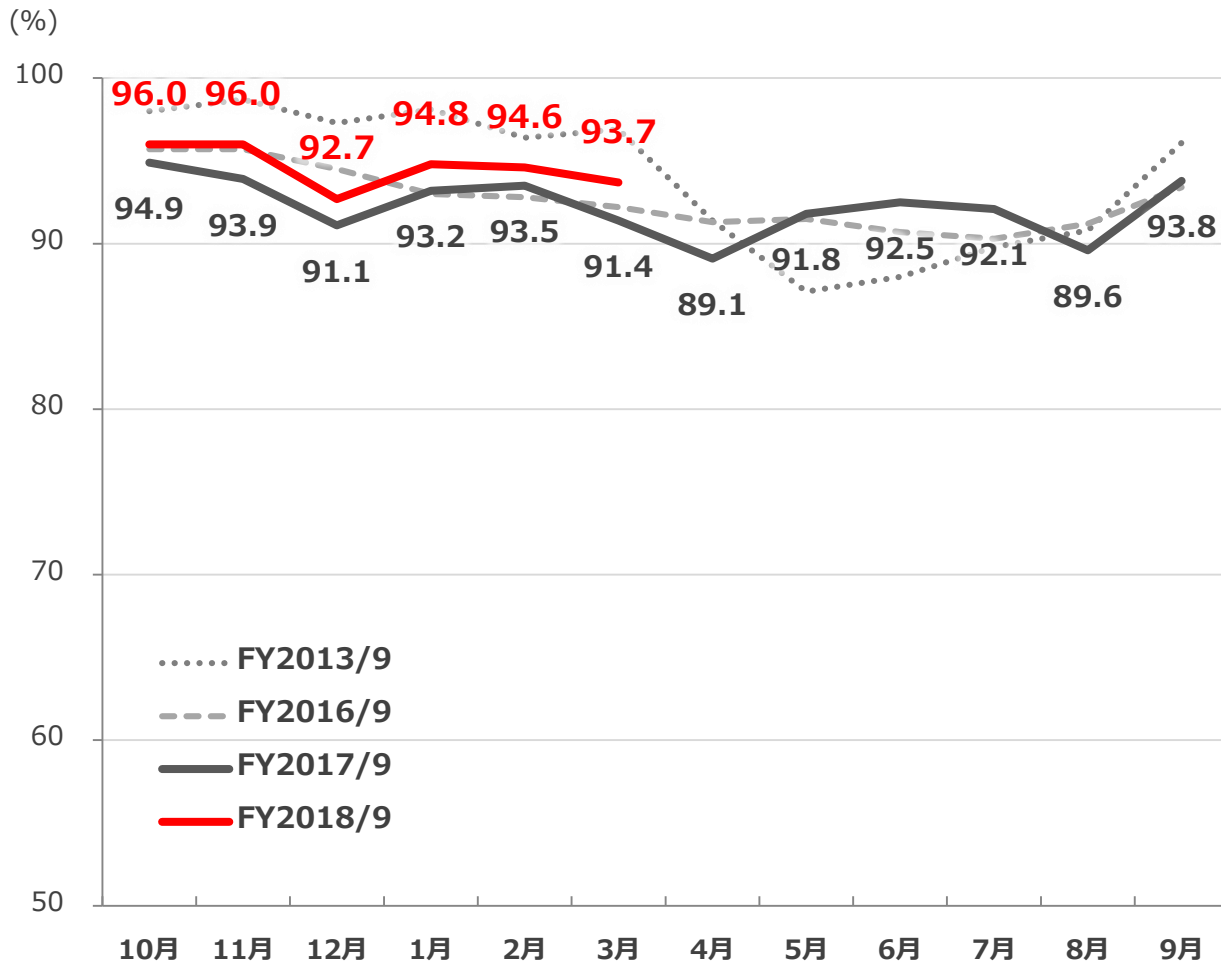
# 技術者数（４） 在籍年数別の割合

■ 年間採用数は前期と横ばい想定のため、今後新人比率は低下予定



# 稼働率の推移

## ■ 採用人数増加を効率的な研修と積極営業でこなし稼働率上昇



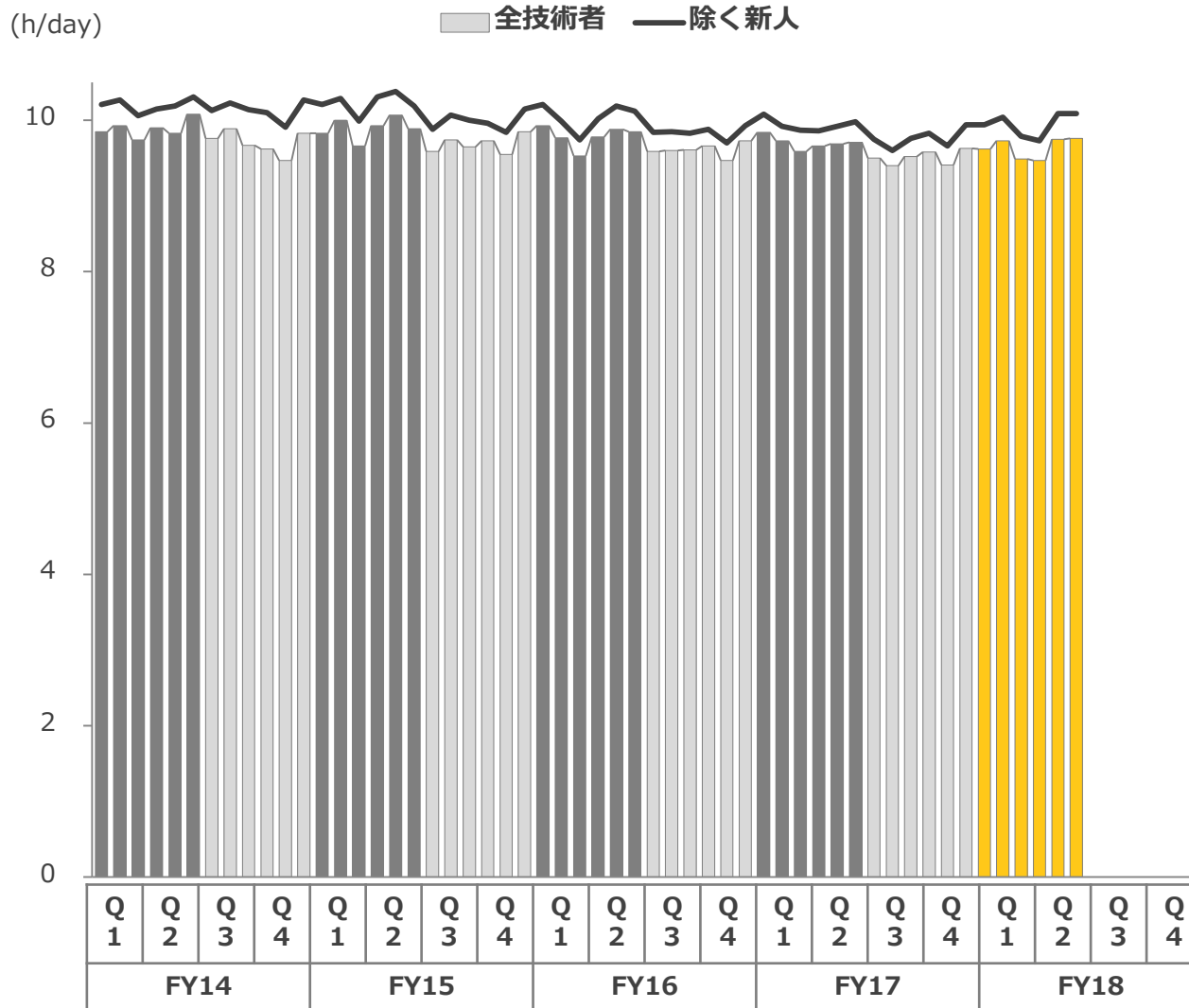
平均稼働率  
6ヶ月平均 (10~3月)

FY13/Q2	97.6%	YoY
FY16/Q2	94.0%	▲3.2pt.
FY17/Q2	93.0%	▲1.0pt.
FY18/Q2	94.6%	+1.6pt.

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
Q1			Q2			Q3			Q4		

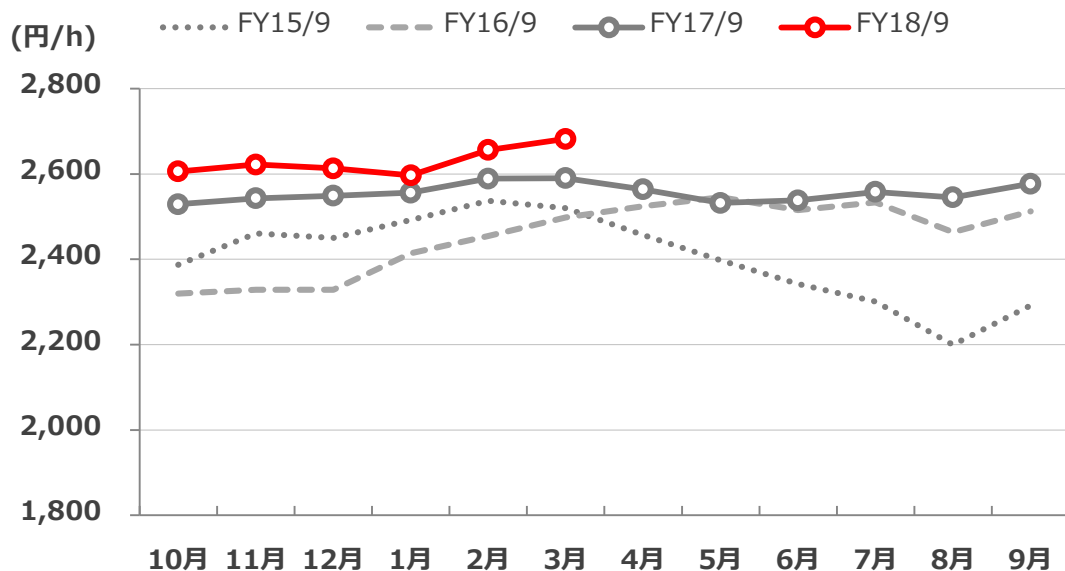
# 稼働時間の推移

■ 「働き方改革」などの労務管理意識の高まりにより稼働時間は減少傾向続く

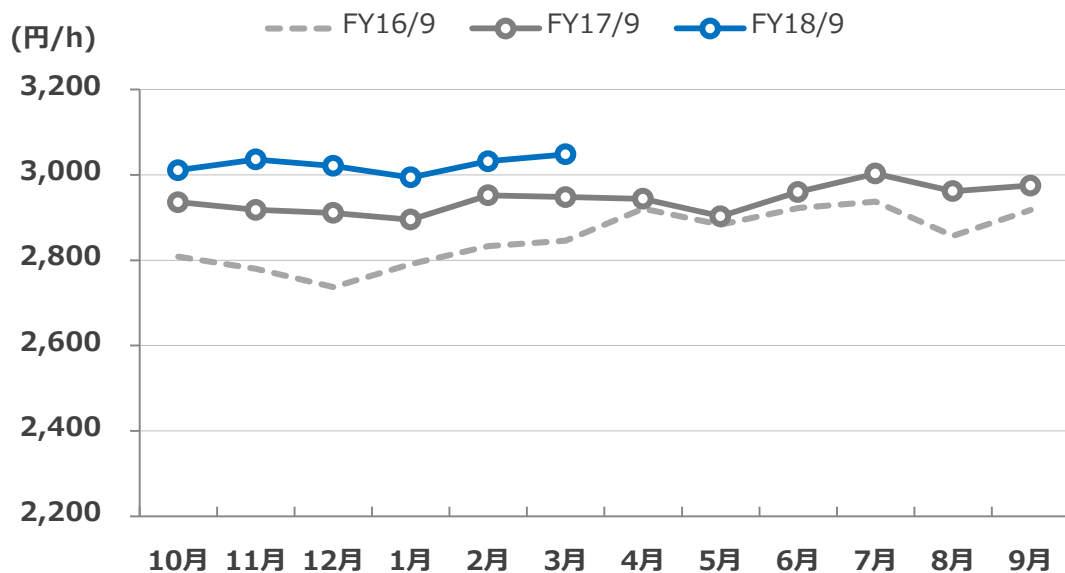


全技術者 平均稼働時間 6ヶ月平均 (10~3月)		
FY14/Q2	9.89h	YoY
FY15/Q2	9.90h	+0.1%
FY16/Q2	9.79h	▲1.1%
FY17/Q2	9.70h	▲0.9%
FY18/Q2	9.64h	▲0.7%

# 派遣単価（1）新人・2年目の推移



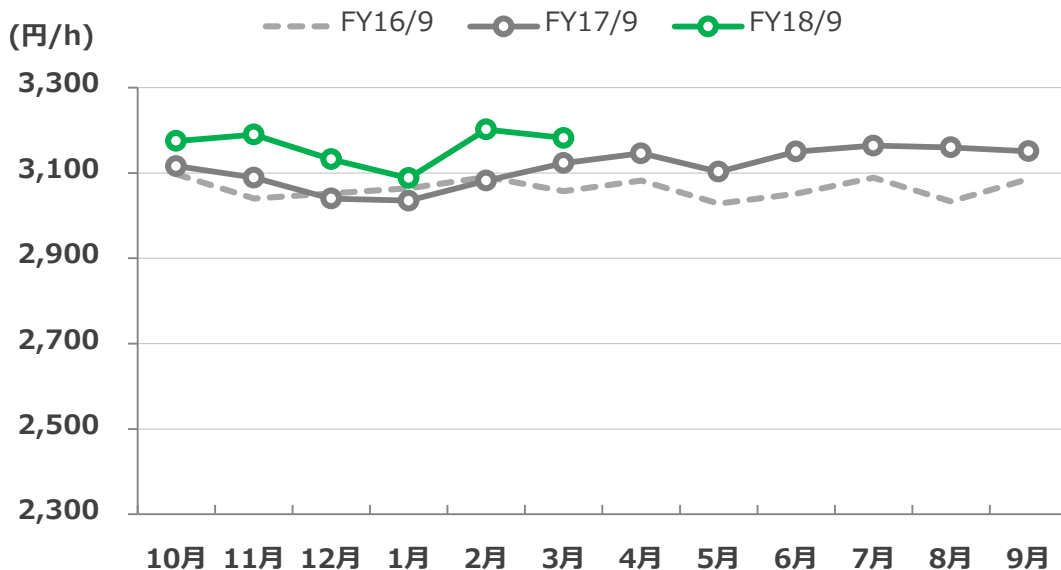
新人のみ 6ヶ月平均 (10~3月)		
FY15/Q2	2,475	YoY
FY16/Q2	2,391	▲3.4%
FY17/Q2	2,559	+7.0%
FY18/Q2	2,629	+2.7%



2年目のみ 6ヶ月平均 (10~3月)		
FY16/Q2	2,799	YoY
FY17/Q2	2,927	+4.6%
FY18/Q2	3,024	+3.3%

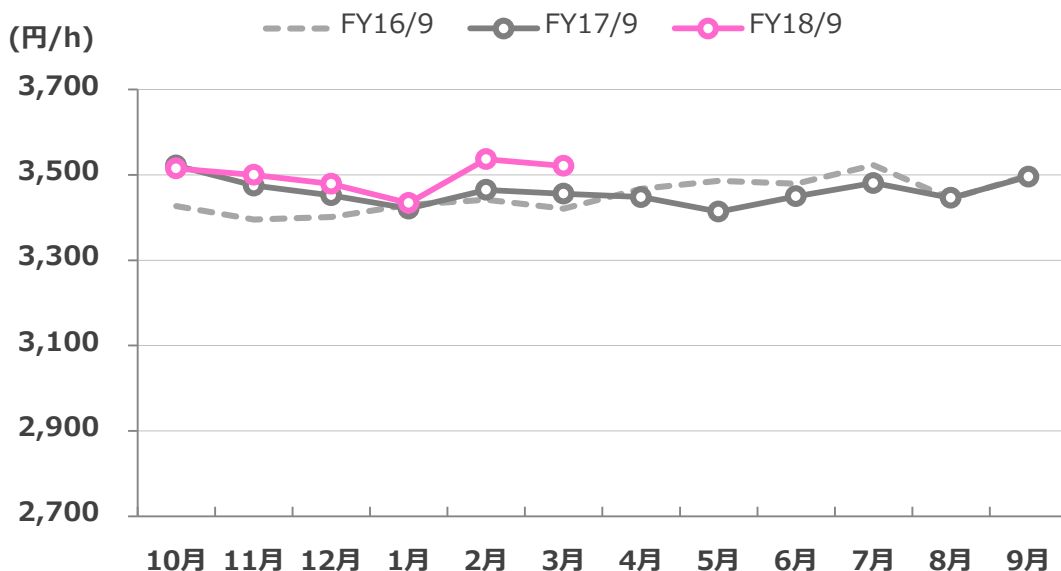


# 派遣単価（2）3年目・4年目以降の推移



3年目のみ  
6ヶ月平均（10～3月）

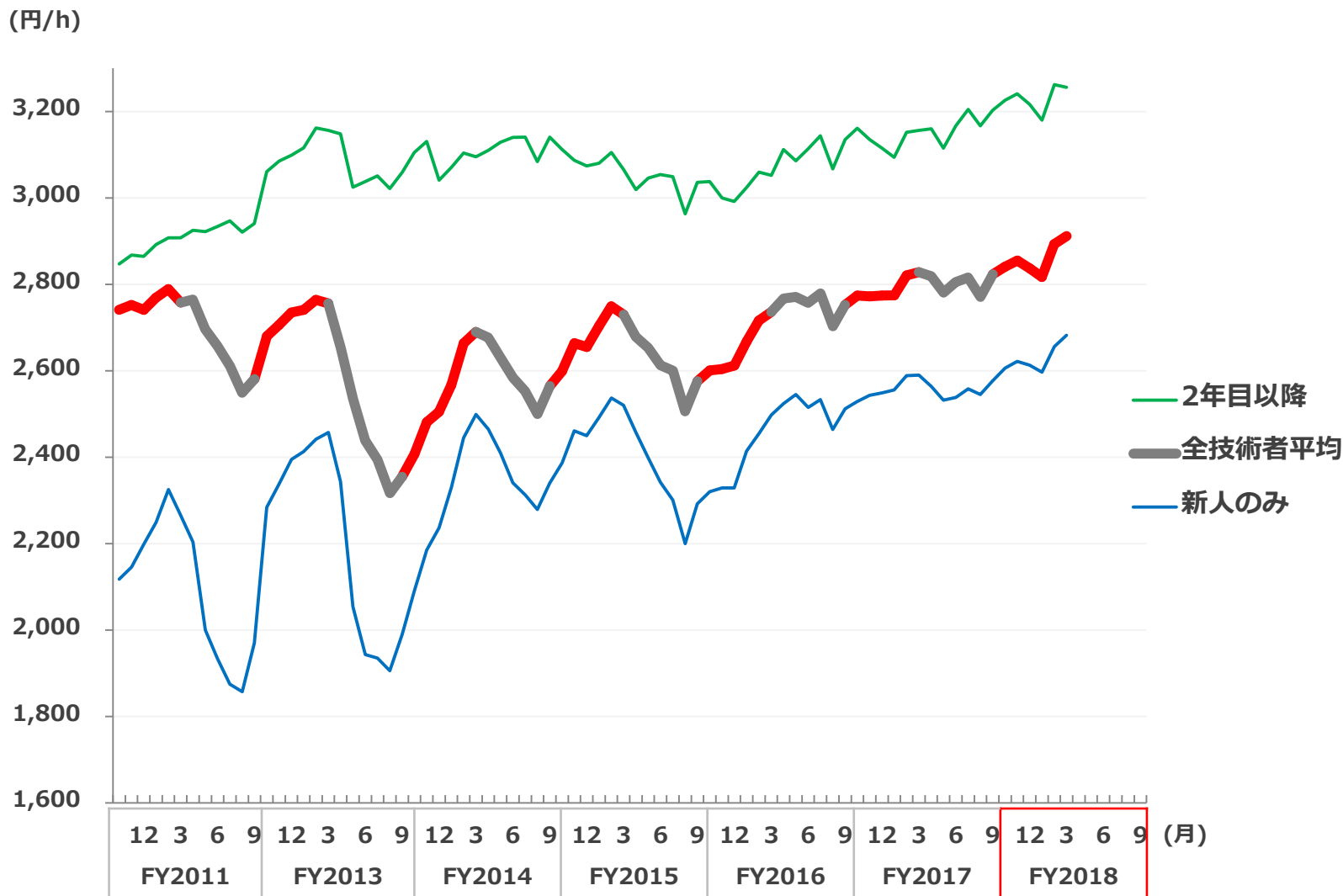
年次	単価 (円/h)	YoY
FY16/Q2	3,067	YoY
FY17/Q2	3,081	+0.5%
FY18/Q2	3,162	+2.6%



4年目以降  
6ヶ月平均（10～3月）

年次	単価 (円/h)	YoY
FY16/Q2	3,419	YoY
FY17/Q2	3,465	+1.3%
FY18/Q2	3,498	+0.9%

# 派遣単価 (3) 中期推移



全社平均 (Q1-Q2)	2,758円	2,730円	2,552円	2,683円	2,656円	2,791円	2,859円
	YoY	▲1.0%	▲6.5%	+5.1%	▲1.0%	+5.1%	+2.5%

# 売上構成4指標 サマリー

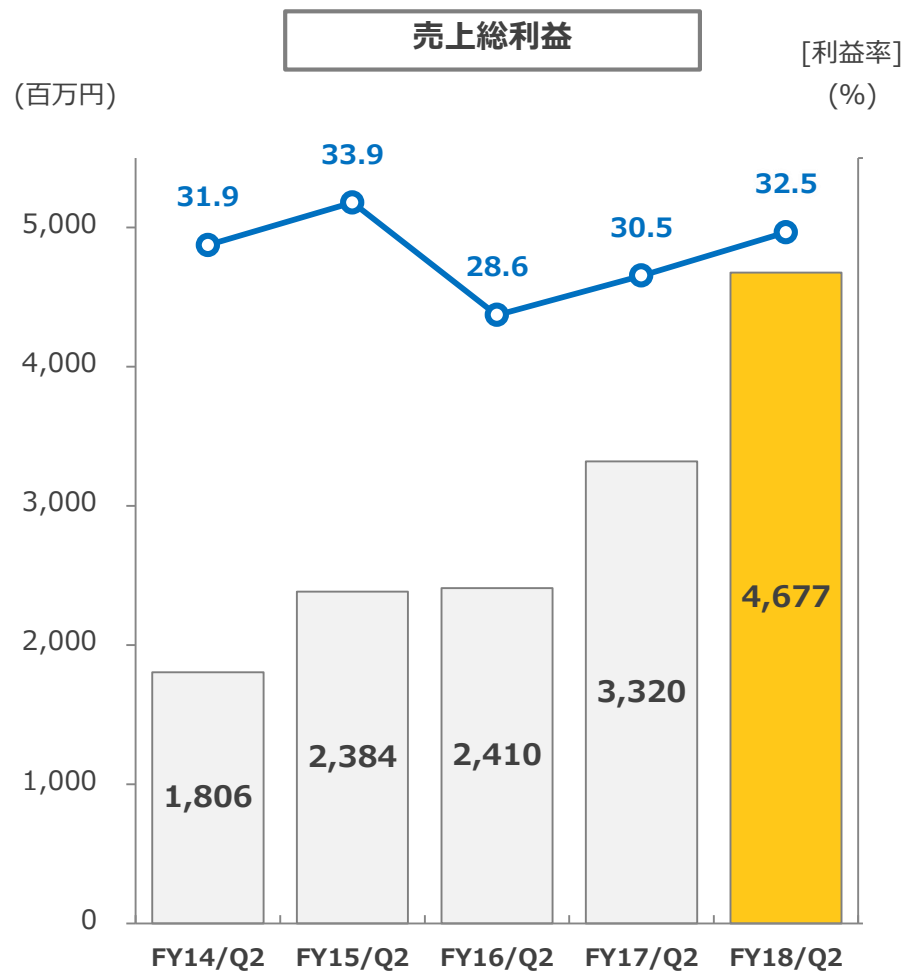
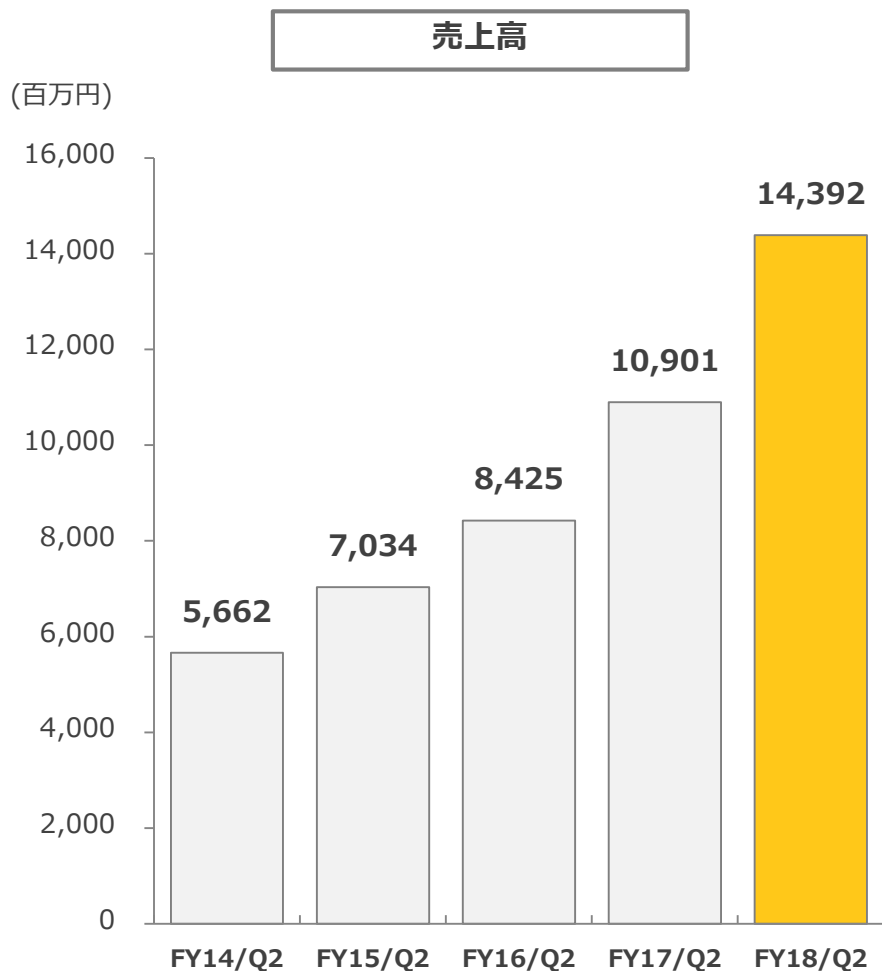
建設技術者派遣

全技術者 6ヶ月平均 (10~3月)

	FY17/Q2	FY18/Q2	増減	増減率
技術者数	3,642人	4,686人	+1,044人	+28.7%
稼働率	93.0%	94.6%	+1.6pt.	—
稼働時間	9.70h	9.64h	▲0.06h	▲0.7%
派遣単価	2,791yen	2,859yen	+68yen	+2.5%

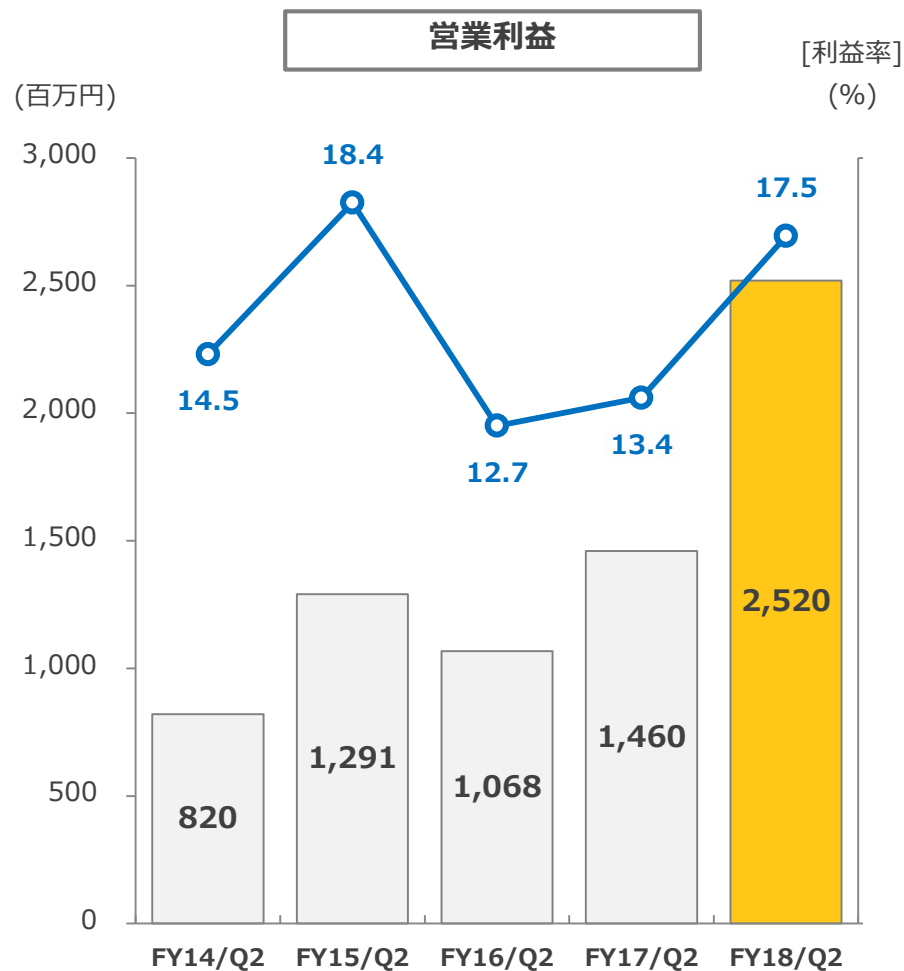
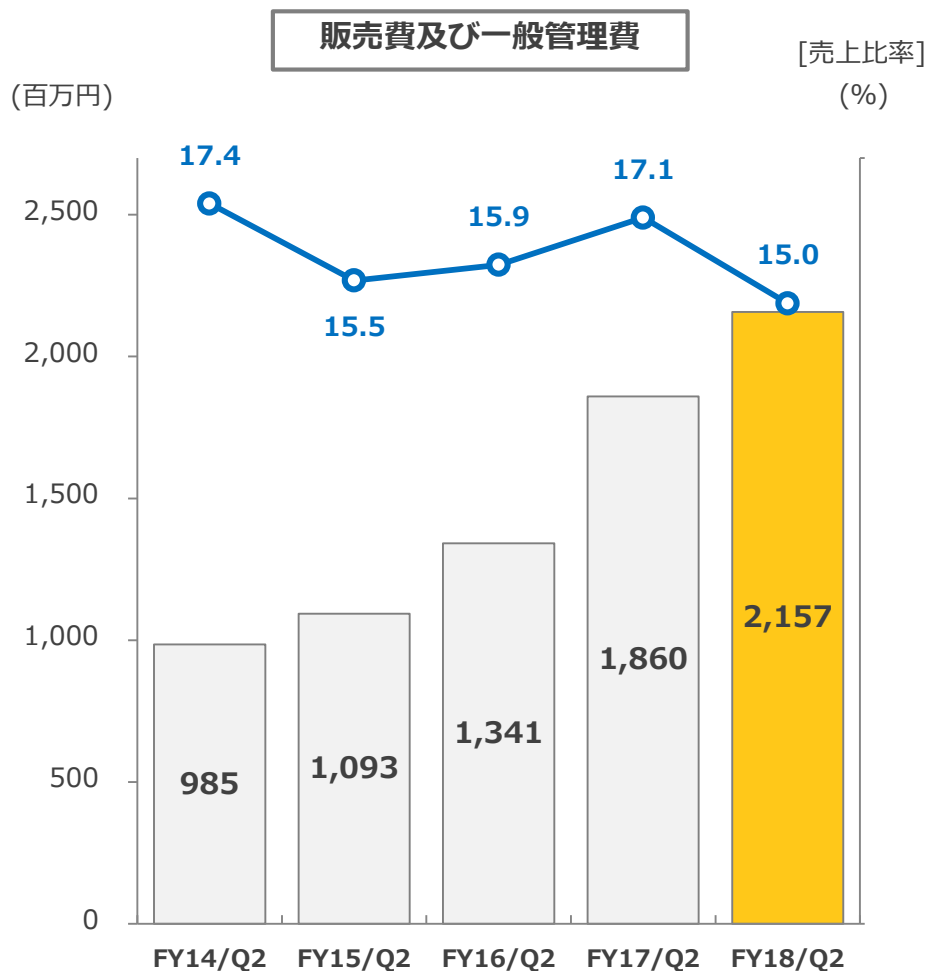
# 単体P/L (1) 売上高・売上総利益

- 売上高 ⇒ 積極採用+高定着率 → 31四半期連続で前年比増収 +32%
- 売上総利益 ⇒ 派遣単価+稼働率上昇 → 利益率2pt.改善 +41%



# 単体P/L (2) 販管費・営業利益

- 販売費及び一般管理費 ⇒ 人件費増加も採用費低減で微増に留まる +16%
- 営業利益 ⇒ 売上総利益の増加で販管費微増で大幅増益 +73%



# 単体 P/L サマリー

建設技術者派遣

(百万円)

	FY17/Q2	FY18/Q2	増減額	増減率
売上高	10,901	14,392	+3,490	32.0%
売上総利益	3,320 (30.5%)	4,677 (32.5%)	+1,356	40.9%
販売費及び一般管理費	1,860 (17.1%)	2,157 (15.0%)	+296	16.0%
営業利益	1,460 (13.4%)	2,520 (17.5%)	+1,059	72.6%
経常利益	1,655 (15.2%)	2,556 (17.8%)	+900	54.4%
四半期純利益	1,171 (10.7%)	2,005 (13.9%)	+833	71.1%

※ ( ) = 売上高比率

## エンジニア派遣事業

- 年間採用計画1,200人（進捗率35.8%）
- 採用実績の内 女性：269人（63%）、外国籍：29人（7%）

（単位：人）

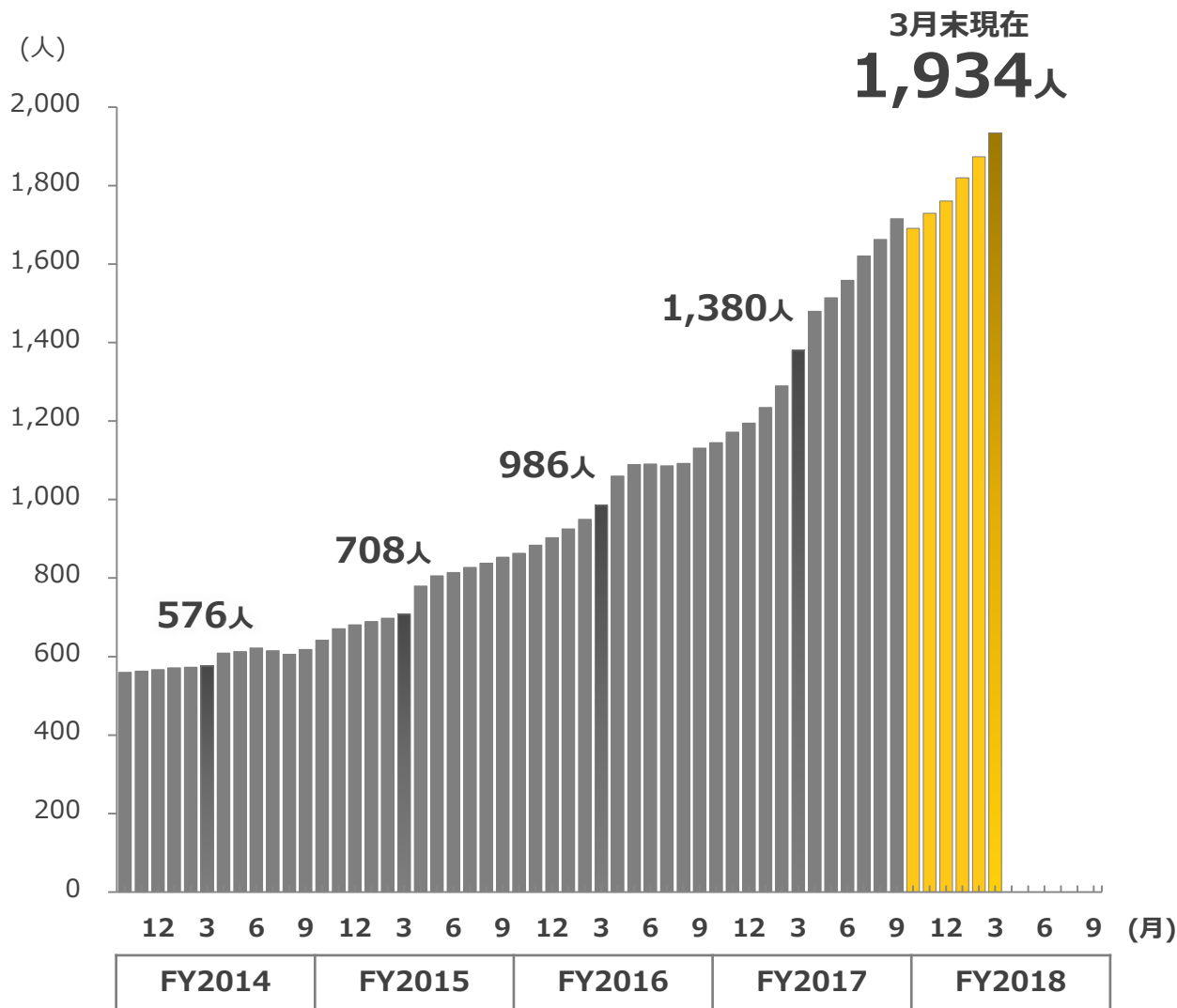
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10～3月 累計
FY17 採用実績		107			242		349
FY18 採用実績		159			270		429
前年比		+52			+28		+80

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	4～9月 累計	10～9月 累計
FY17 採用実績		306			286		592	941
FY18 採用実績								
前年比								



# 在籍エンジニア数の推移

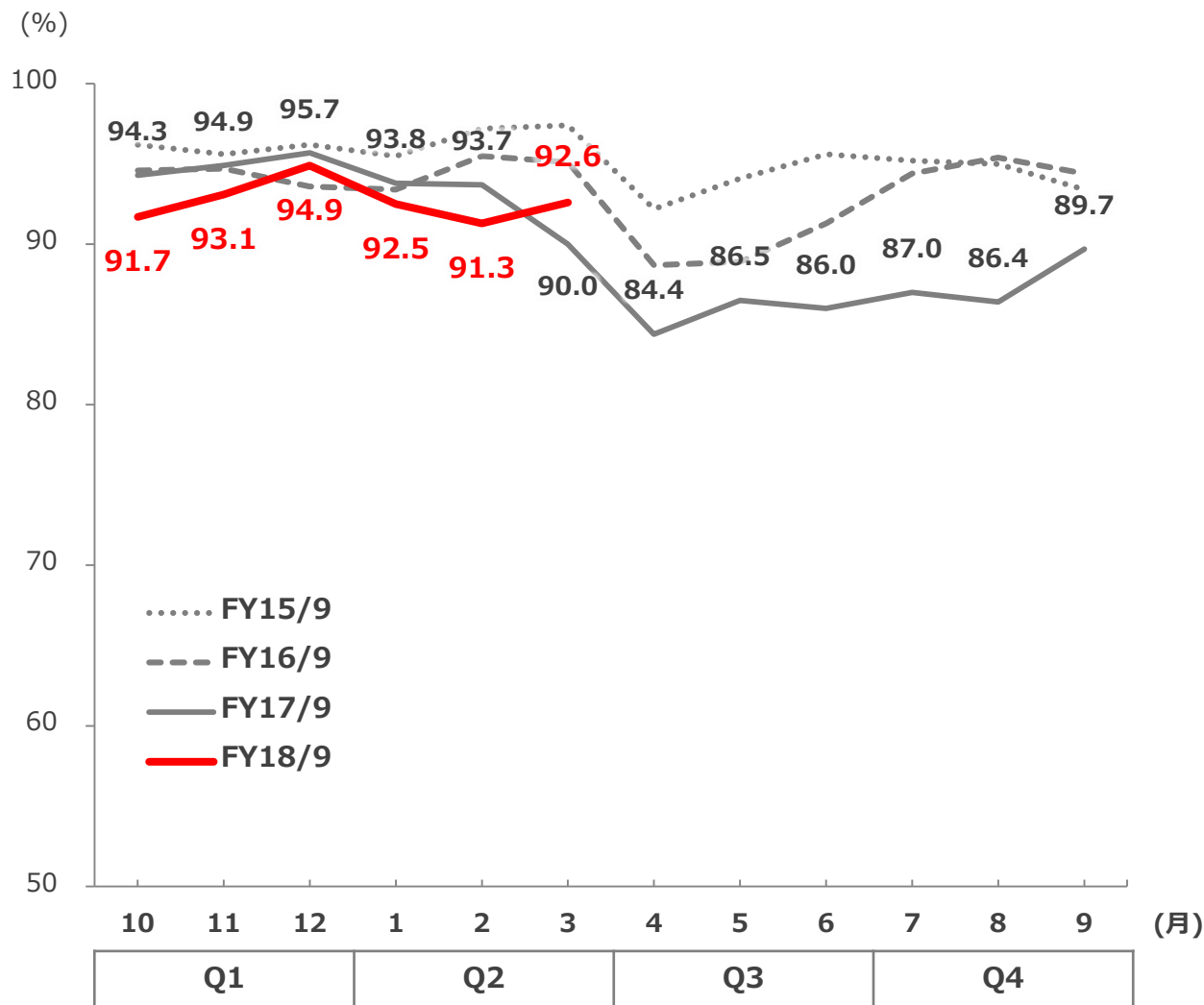
■ 前年同月末比 554人増加 (+40.1%)



平均技術者数 6ヶ月平均 (10~3月)		
FY2014	568人	YoY
FY2015	682人	+19.9%
FY2016	919人	+34.8%
FY2017	1,236人	+34.6%
FY2018	1,802人	+45.7%

※ 各月末技術者数

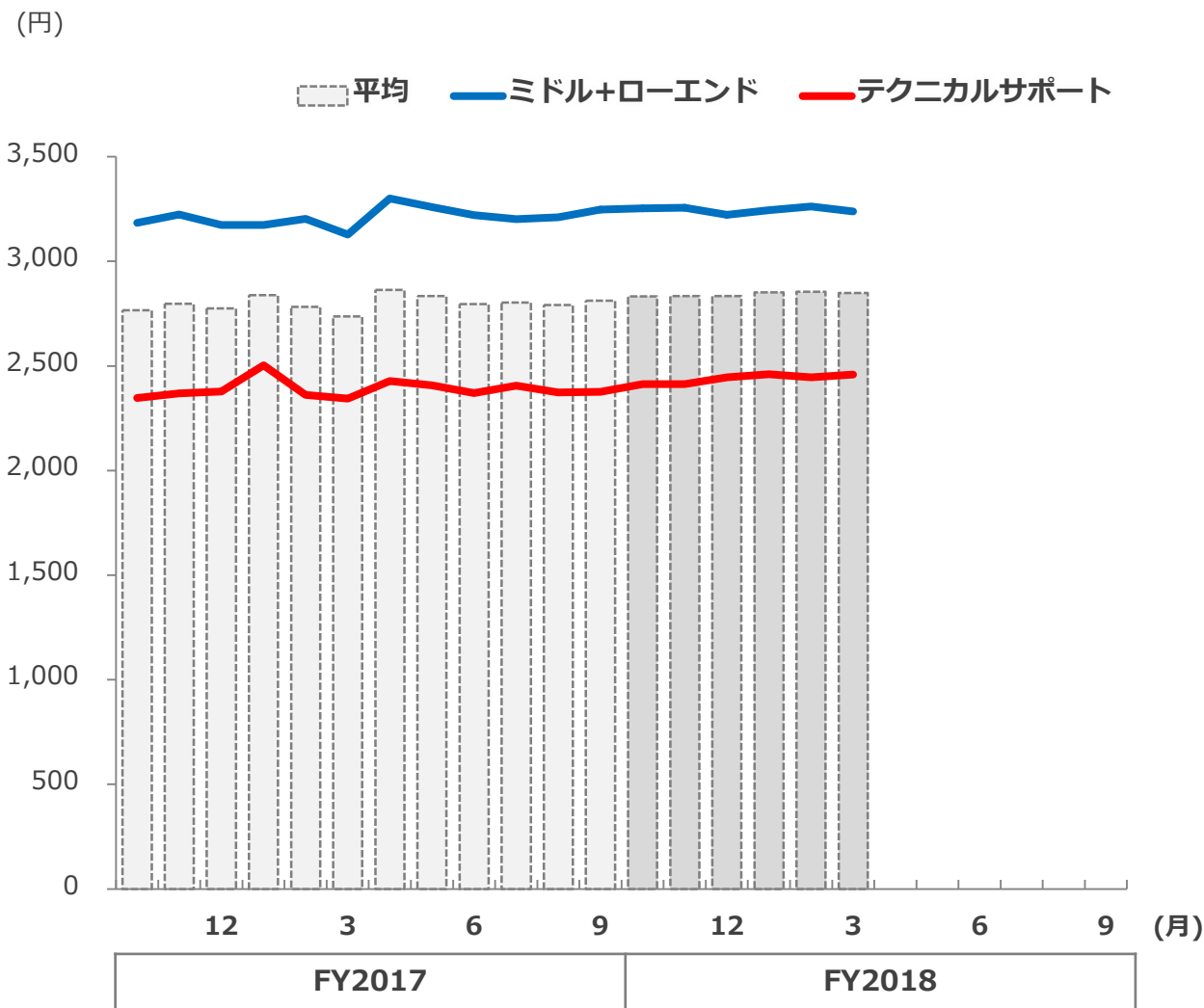
## ■ 積極投資による採用人数増加で稼働率低下



平均稼働率 6ヶ月平均 (10~3月)		
FY2015	96.4%	YoY
FY2016	94.5%	▲1.9pt.
FY2017	93.7%	▲0.8pt.
FY2018	92.7%	▲1.1pt.

# 派遣単価の推移

## ■ 人海戦術となるテクニカルサポート領域の開拓に注力



### 6ヶ月平均 (10~3月)

#### ミドル+ローエンド

FY17/Q2	3,181円	YoY
FY18/Q2	3,246円	+2.0%

#### 平均

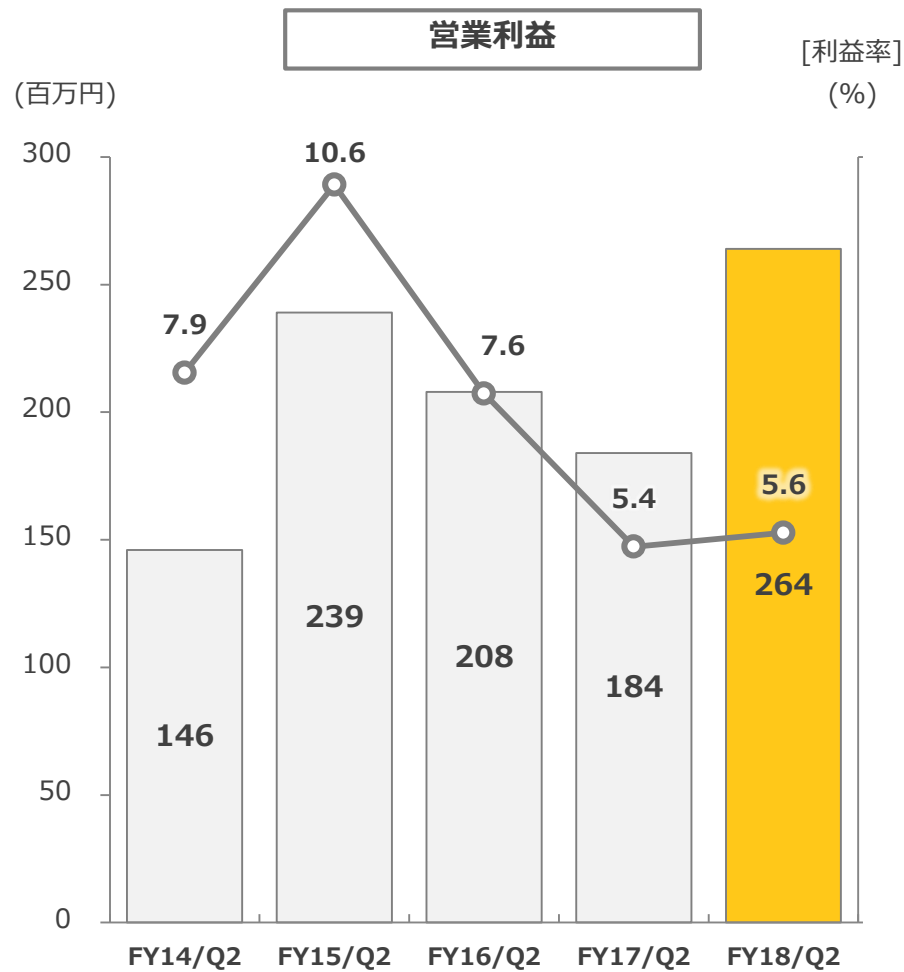
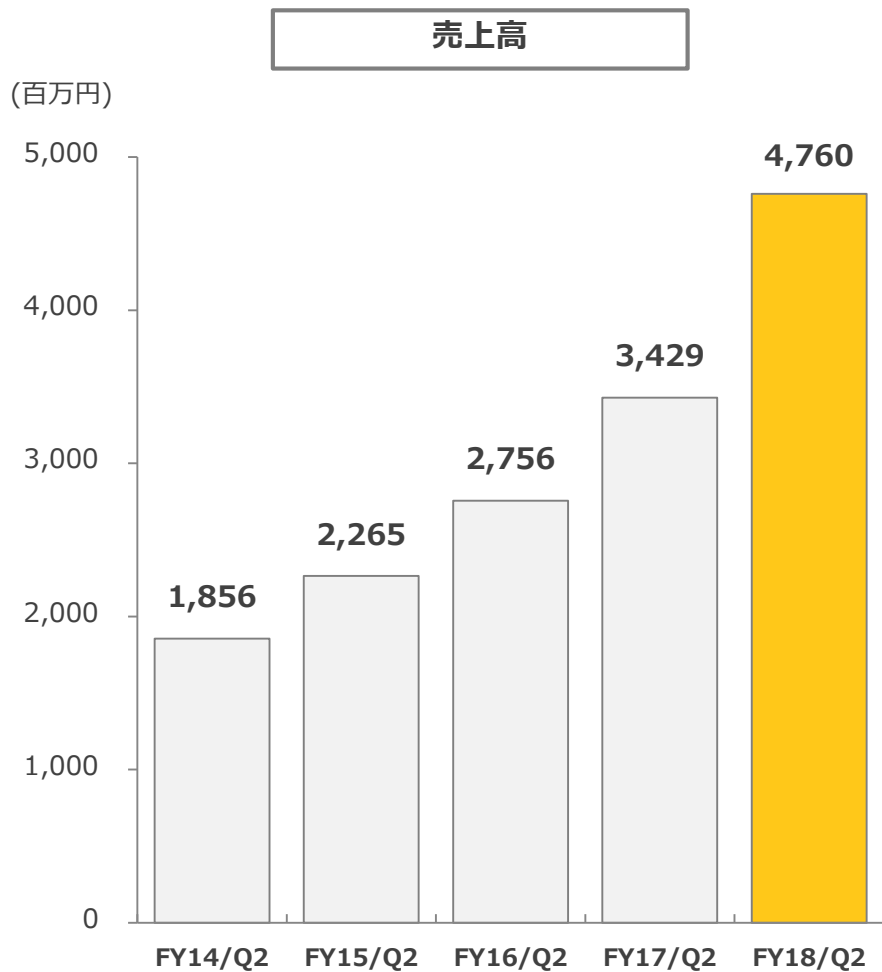
FY17/Q2	2,783円	YoY
FY18/Q2	2,843円	+2.2%

#### テクニカルサポート

FY17/Q2	2,384円	YoY
FY18/Q2	2,439円	+2.3%

# P/L サマリー

- 売上高 ⇒ 積極採用により稼働人数増加 39%増収
- 営業利益 ⇒ 採用費の増加こなし43%増益



**その他事業**

- 教育・IT関連事業をその他事業へセグメント変更
- 不採算子会社の整理進む → 今後は人材紹介事業がメインに



## 1. 人材紹介事業 (百万円)

	FY17/Q2	FY18/Q2	増減
売上高	81	94	+12
セグメント利益	▲ 30	1	+32

・ 人材不足は逼迫 → 外部環境良好でQ3以降利益貢献

## 2. 教育関連事業 (百万円)

	FY17/Q2	FY18/Q2	増減
売上高	22	57	+35
セグメント利益	▲ 184	▲ 116	+68

・ 事業縮小に伴う損失計上 → Q3以降追加損失なし

## 3. IT関連事業 (百万円)

	FY17/Q2	FY18/Q2	増減
売上高	155	74	▲ 81
セグメント利益	▲ 61	▲ 13	+74

・ 不採算子会社売却 → 通期では黒字化を目標

※その他、セグメント間取引による連結消去がございます。

# 下半期について

下半期について

# 2018年9月期 連結業績予想と進捗率

(百万円)

	FY2017 実績	FY2018 予想	増減率	進捗率 (Q2現在)
売上高	30,510	39,000	27.8%	49.6%
営業利益	2,361	4,500	90.5%	57.5%
経常利益	2,423	4,500	85.7%	56.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,426	2,900	103.4%	64.5%
1株当たり純利益	19.12円	38.89円	103.4%	64.5%



# セグメント別 経営戦略

## 1. 建設技術者派遣事業

 **2,500人採用＋派遣単価UP**

## 2. エンジニア派遣事業

 **1,200人採用＋派遣単価UP**

## 3. その他事業

 **取捨選択で損失縮小**

# 「利益を出すこと」

## IRの取り組み

1. 月次で営業利益を開示
2. 年間採用予算の公表
3. 想定ROEの公表

2018年9月期

---

# 経営戦略

# 採用戦略（1）採用戦略とコスト

## 採用戦略

1. 一人当たり採用コストは横ばい計画 ⇒ 応募数より承諾率の向上に注力
2. 300百万円のバッファを設定 ⇒ コスト管理を徹底
3. 面接担当者のスキルを標準化
4. 応募→面接→内定→承諾のプロセスを一元管理
5. 前期採用拠点を多数新設 ⇒ 地方での採用を強化

### 採用コスト

(百万円)

	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018 (計画)	FY18/Q2 (実績)
年間採用コスト	455	668	1,117	1,300	526 (40.5%)
年間採用人数	1,702人	2,018人	2,666人	2,500人	1,371人 (54.8%)
一人当たり採用コスト	267千円	331千円	419千円	400千円	384千円
増減率	31.9%	23.9%	26.5%	△4.5%	△8.4%

※( )=進捗率

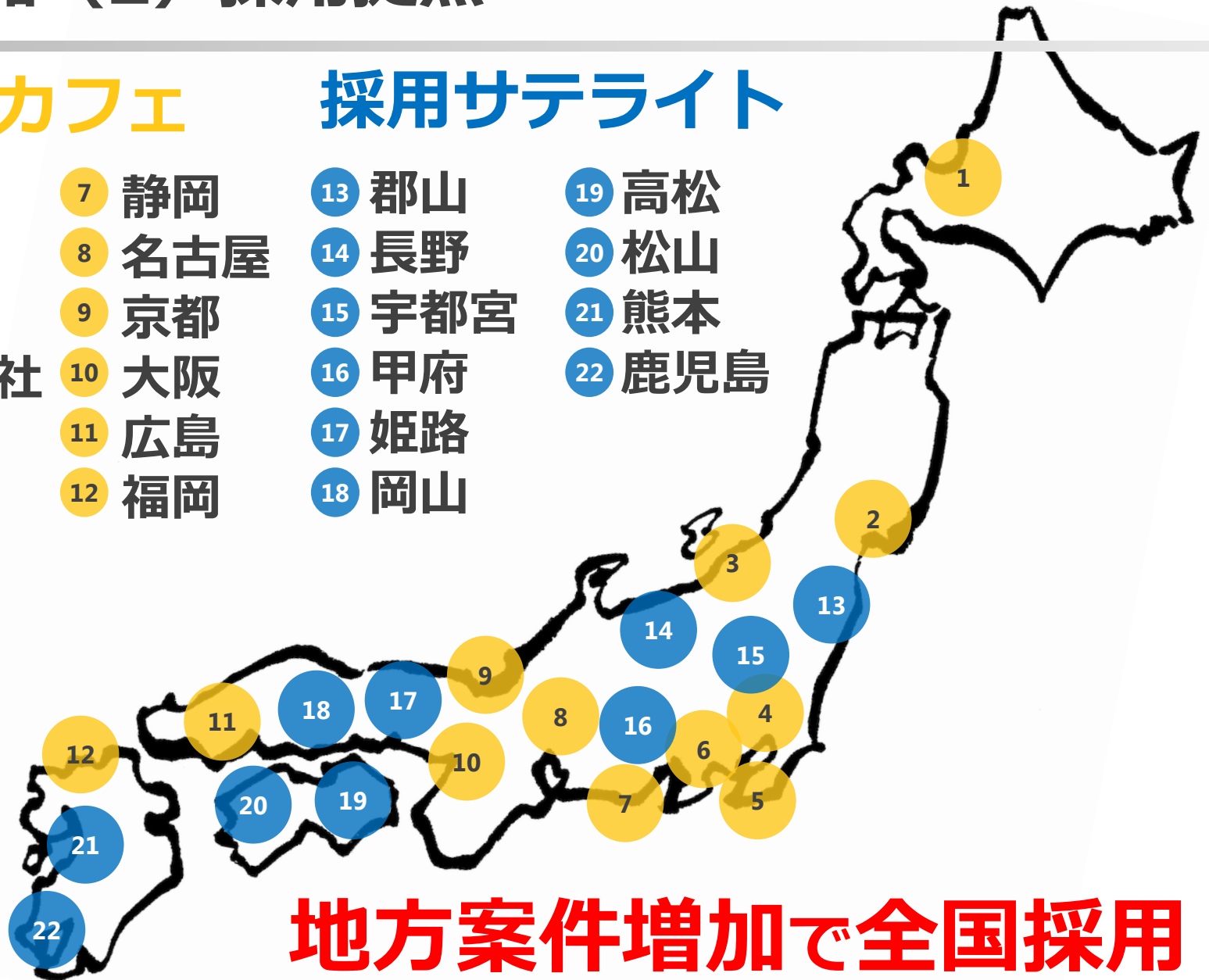
# 採用戦略 (2) 採用拠点

## 夢探索カフェ

- 1 札幌
- 2 仙台
- 3 新潟
- 4 東京本社
- 5 千葉
- 6 横浜
- 7 静岡
- 8 名古屋
- 9 京都
- 10 大阪
- 11 広島
- 12 福岡

## 採用サテライト

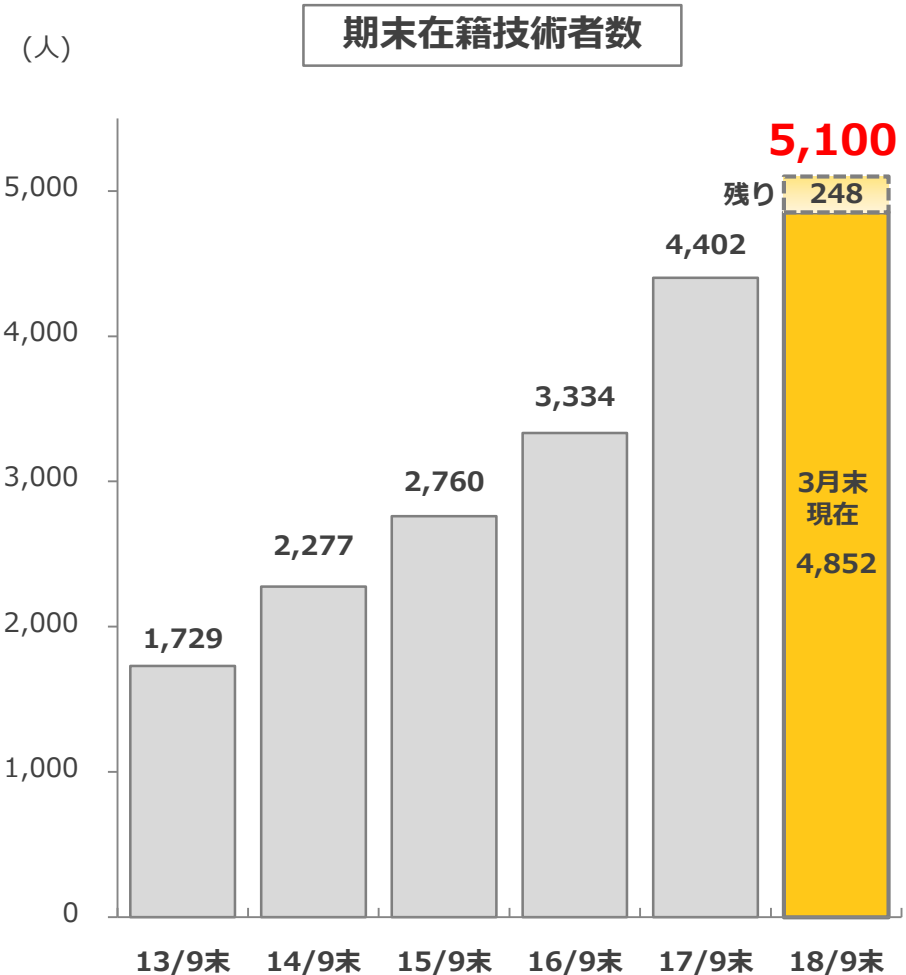
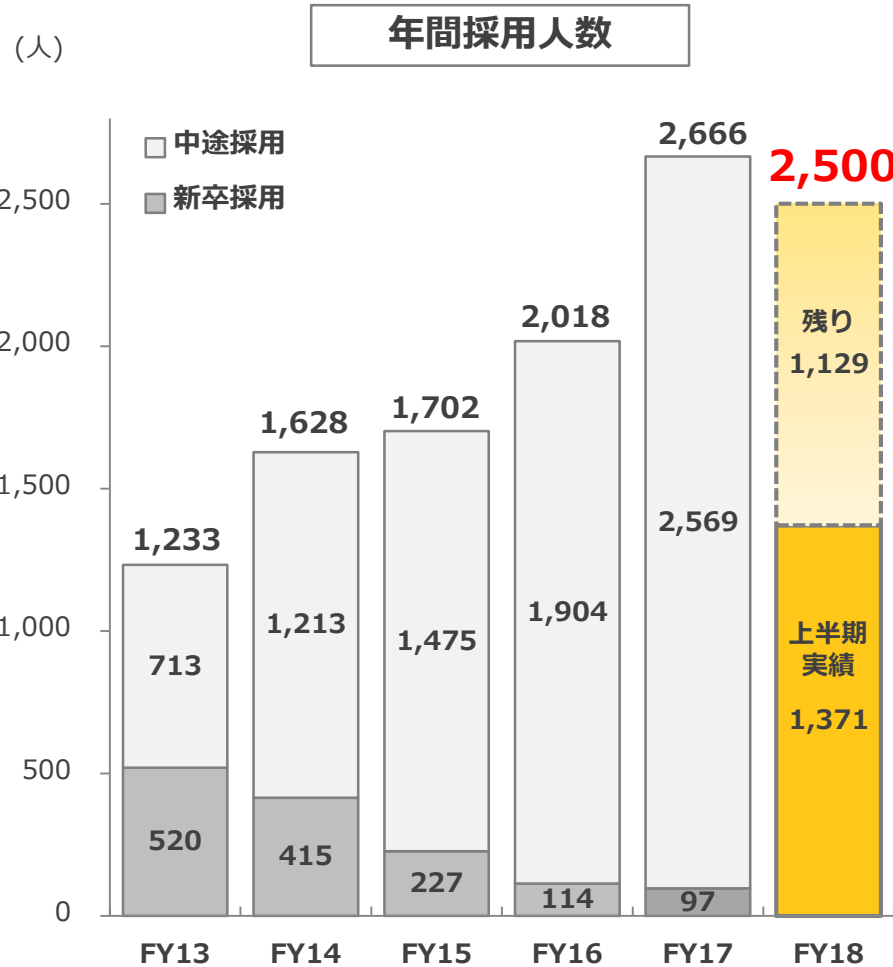
- 13 郡山
- 14 長野
- 15 宇都宮
- 16 甲府
- 17 姫路
- 18 岡山
- 19 高松
- 20 松山
- 21 熊本
- 22 鹿児島



**地方案件増加で全国採用**

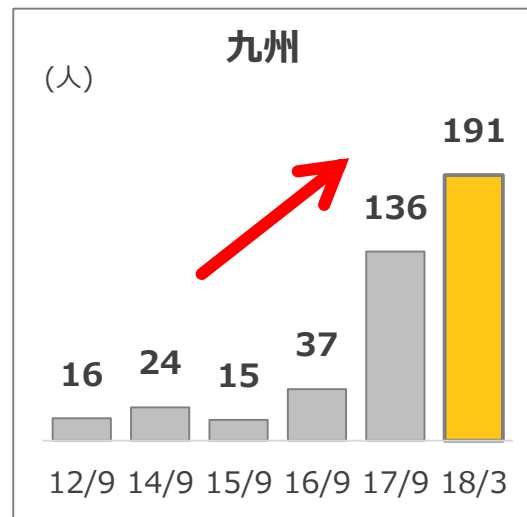
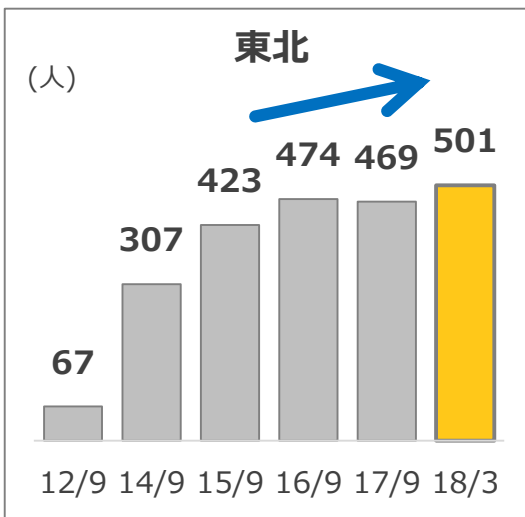
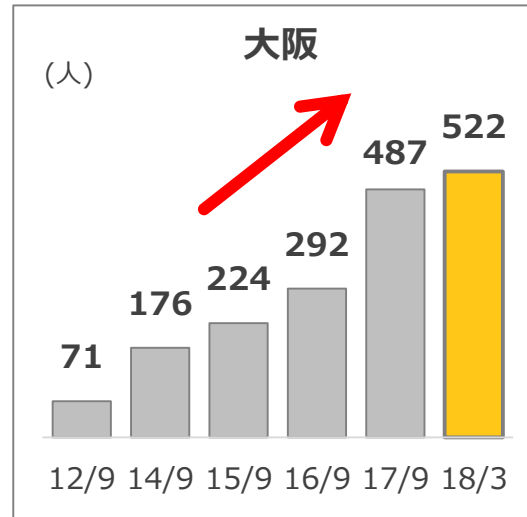
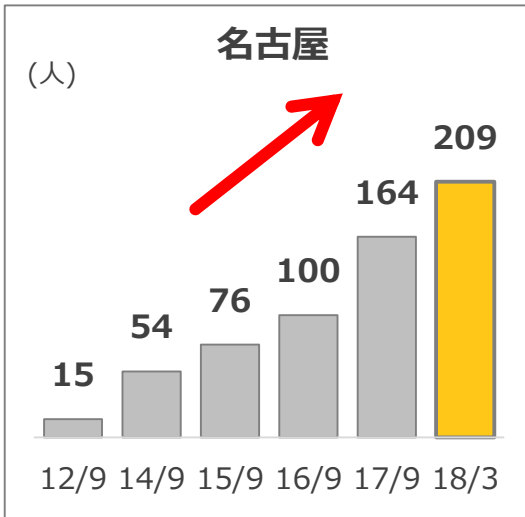
# 採用戦略（3） 目標技術者数

- 4月の新卒者一斉入社による稼働率の低下防止のため中途入社人数増加
- 2018年9月末に約700人増加の5,100人目標



# 営業戦略（1）外部環境・施策

## 営業所別 技術者数の推移



## 外部環境

1. 中部・関西地方は積極的な需要開拓で堅調
2. 東北地方は横ばい ⇒ 派遣需要はあるが現地採用が苦戦
3. 熊本での震災以降、九州地方への派遣人数が約5倍に増加



## 営業施策

1. 派遣単価の引き上げ交渉を継続
2. 新規開拓とともに各ゼネコン地方支店への販路拡大
3. 一定の残業時間を見込める現場へシフト
4. 増加する地元で働きたいニーズに応えるため営業所増

# 営業戦略（2）顧客別 売上高割合

- 地道な新規開拓で顧客数1,690社 → 5年間で約1,000社増加（FY2012=693社）
- 上位10社で20%を下回り売上の分散が進む
- 重要顧客にはチーム制を導入し手厚いサポート

## 売上高構成比

（%）

順位	FY2014		FY2015		FY2016		FY2017		FY18/Q2	
1	大和ハウス工業	6.5	大和ハウス工業	6.2	大和ハウス工業	6.1	大和ハウス工業	5.4	大和ハウス工業	4.7
2	東急建設	4.6	大成建設	3.7	大成建設	4.1	大成建設	3.8	大成建設	3.7
3	大成建設	3.5	清水建設	2.8	清水建設	3.4	清水建設	2.6	清水建設	2.4
4	安藤・間	1.6	東急建設	2.7	竹中工務店	3.0	竹中工務店	2.0	新菱冷熱工業	1.6
5	清水建設	1.6	竹中工務店	2.2	新菱冷熱工業	1.7	富士電機	1.6	富士電機	1.3
	上位5社合計	17.8	上位5社合計	17.5	上位5社合計	18.3	上位5社合計	15.3	上位5社合計	13.7
	上位10社合計	24.9	上位10社合計	24.8	上位10社合計	24.6	上位10社合計	22.1	上位10社合計	19.6

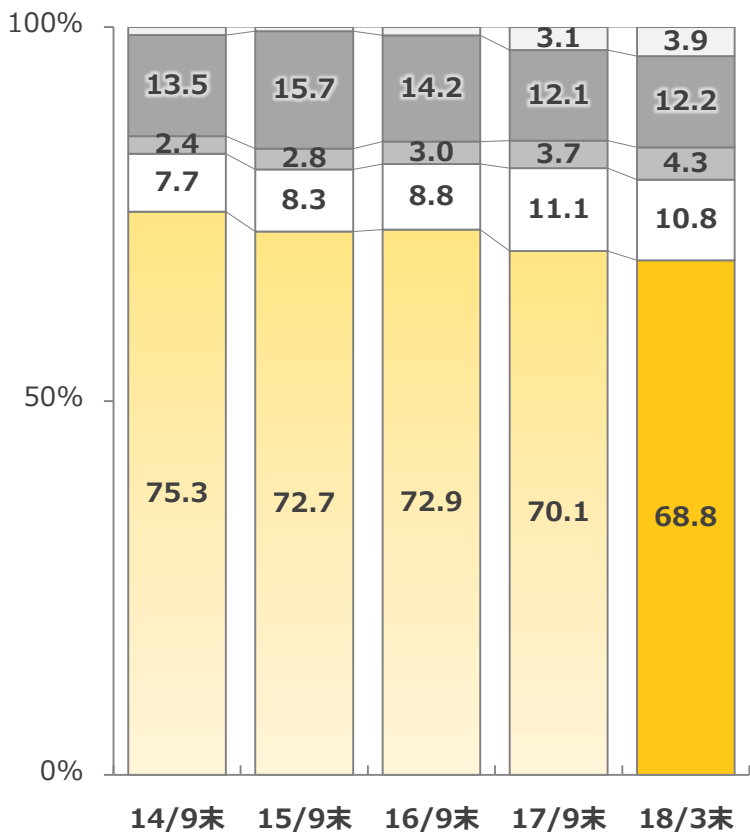
※ 敬称は省略しております。



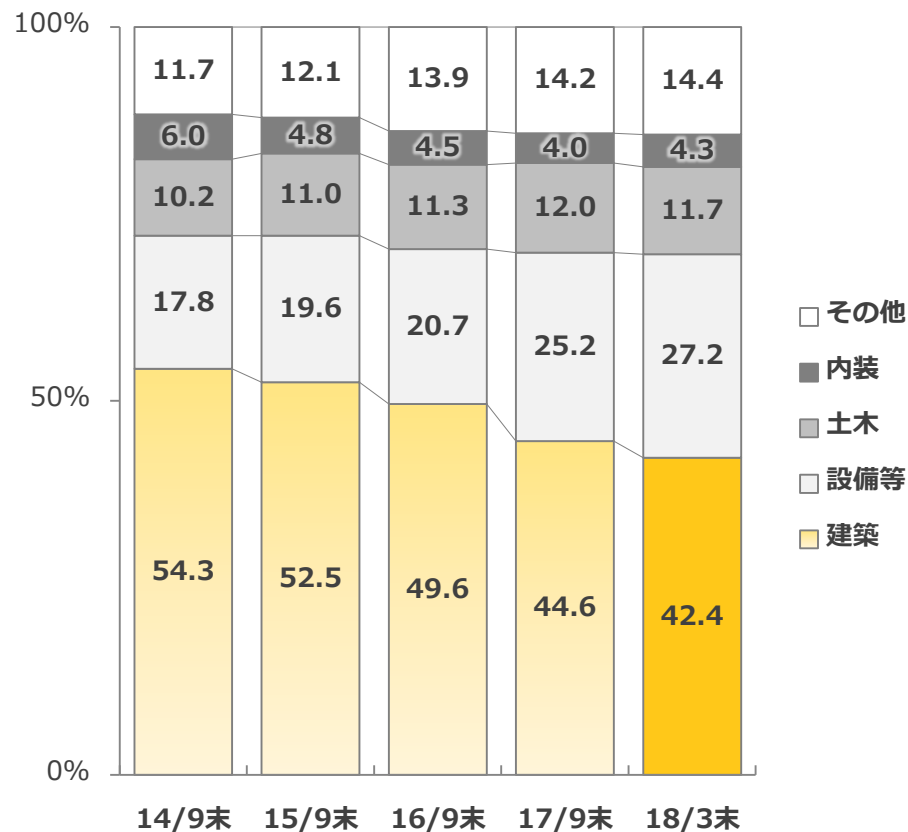
# 営業戦略（2）派遣地域・業種別の割合

- 地域別 ⇒ 各ゼネコンの地方支店開拓により、中部・九州が堅調
- 業種別 ⇒ 若手技術者を積極活用する電気・空調設備等が続伸

地域別の割合



業種別の割合



※ 17/9末より東北に北海道を含んでおります。

# 経営戦略まとめ

## 1. 稼働人数

- ・ コスト遵守で2,500人採用
- ・ 継続的なフォロー施策で定着率70%以上維持
- ・ 女性技術者の積極採用

## 2. 稼働率

- ・ 稼働状況に応じて採用人数をフレキシブルに対応
- ・ 事務作業軽減 ⇒ 営業効率化で高稼働率へ
- ・ 地方営業所のさらなる活性化 ⇒ 販路拡大

## 3. 稼働時間

- ・ 契約更新時に残業を見込める現場へシフト

## 4. 派遣単価

- ・ 継続的なフォロー研修で高付加価値へ
- ・ 契約単価に重点を置いた評価制度

株主還元

株主還元

# 中期株主還元方針

## 三つの基本方針で株主様に還元

自己資本  
適正化

1株当たり配当金を35円以上で維持

資本効率  
向上

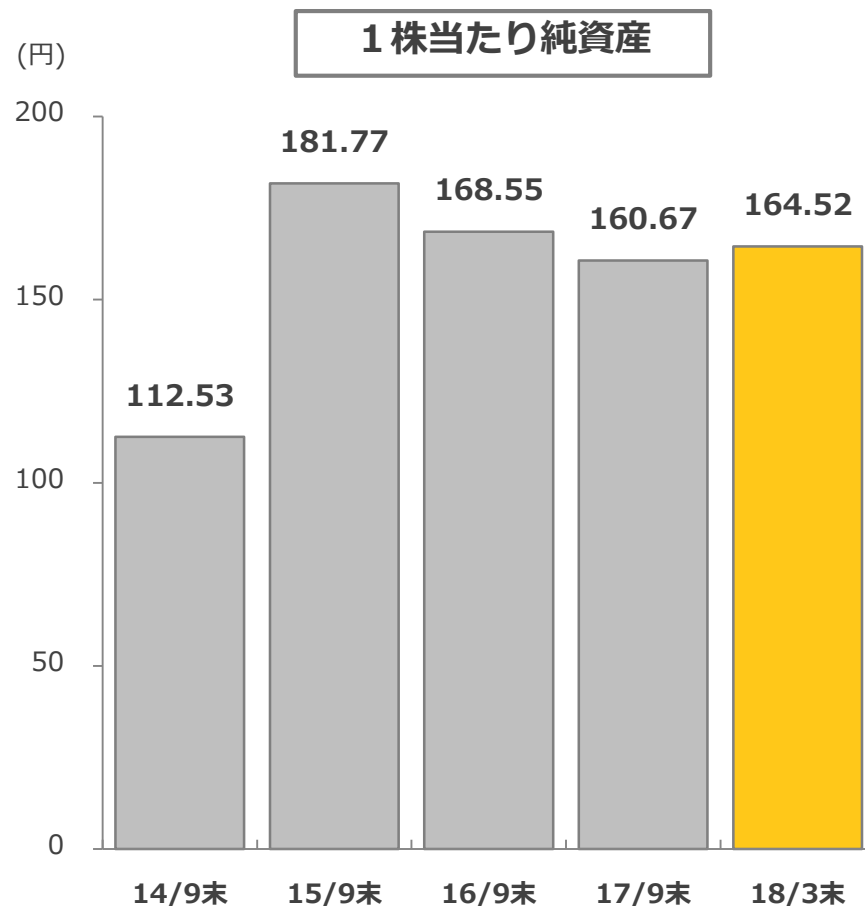
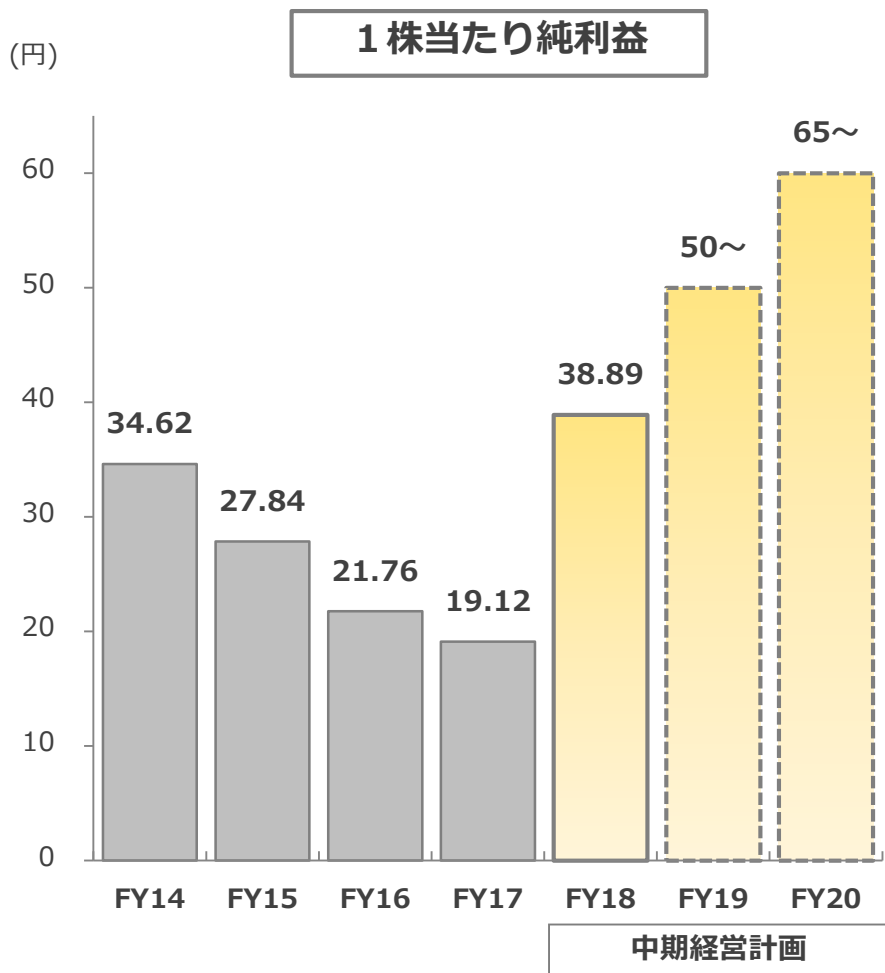
利益率向上でROE30%以上

流動性  
向上

東証1部上場を目指す

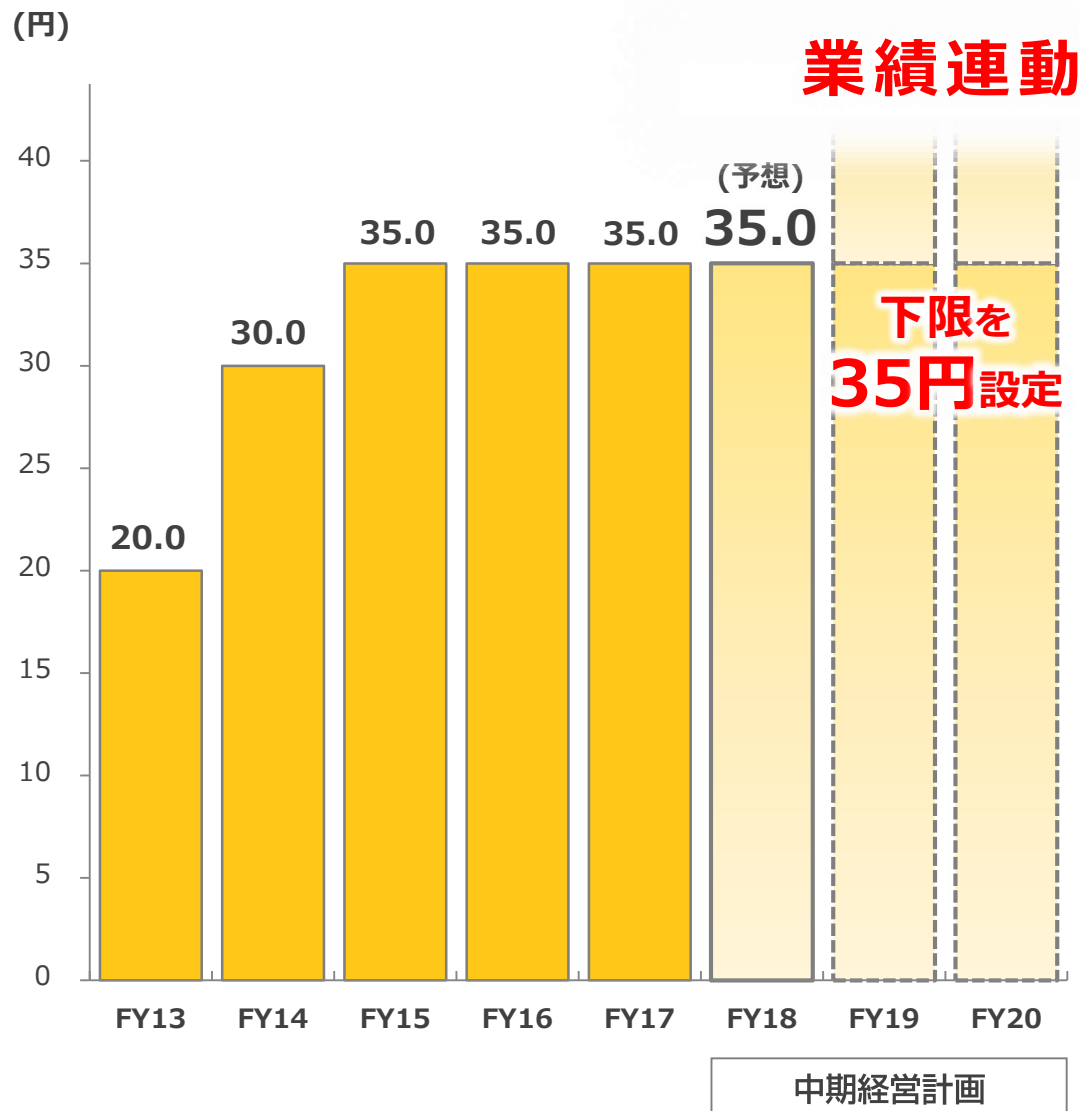
# 株主還元（1） 1株当たり純利益・純資産

■ 1株当たり純利益 ⇒ 利益率の改善でFY18以降、大幅増益予定



- ※ 1. 1株当たり純利益 = 当期純利益 ÷ 期中平均株式数 × 100  
2. 1株当たり純資産 = 自己資本 ÷ (発行済株式総数 - 期末自己株式数) × 100

# 株主還元（2） 1株当たり配当金



## 安定配当に プラスα

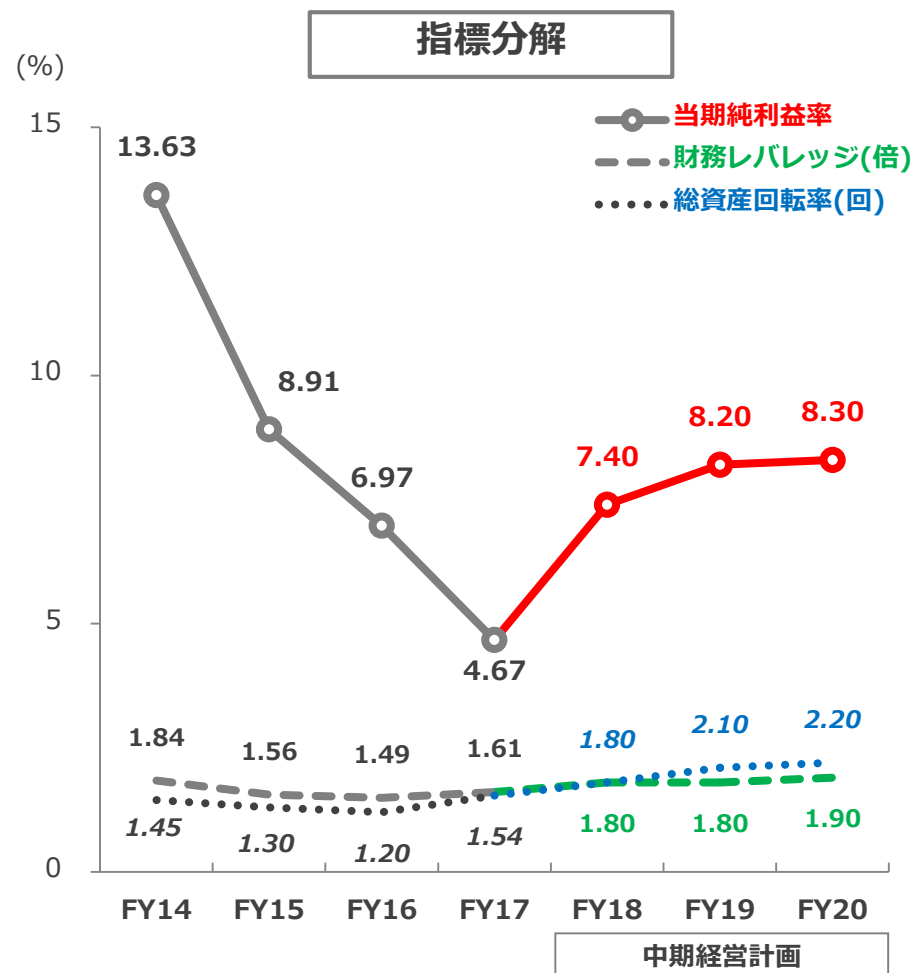
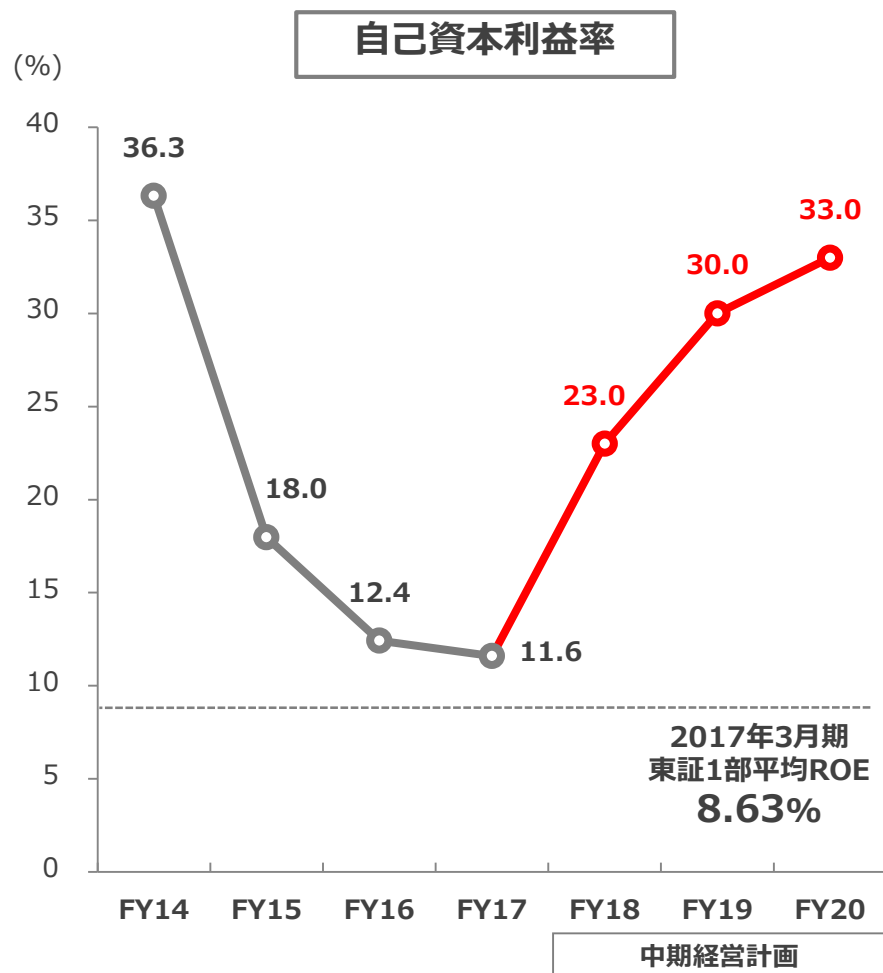
### プラスαとは？

EPSの増加分を機動的に活用

1. 増配
2. 自己株式取得
3. M&Aなどの再投資

# 株主還元（3）自己資本利益率（ROE）

■ 利益率の改善と高配当+再投資による資産回転率の向上で30%水準への回復を目指す



- ※ 1. 自己資本利益率 = 当期純利益 ÷ 自己資本(期中平均) × 100
- 2. 財務レバレッジ = 総資産(期中平均) ÷ 自己資本(期中平均)
- 3. 総資産回転率 = 売上高 ÷ 総資産(期中平均)

4. 中期経営計画におけるROEは毎期35.0円配当にて算出

ご参考



# ご参考 (1) 中期経営計画

## 1. 連結

(百万円)

	FY2017 (実績)	FY2018	FY2019	FY2020
売上高	30,510	39,000	50,500	60,000
営業利益	2,361	4,500	6,200	7,900
営業利益率	7.7%	11.5%	12.3%	13.2%
当期純利益	1,426	2,900	4,100	5,000
1株当たり純利益	19.12円	38.89円	50円～	65円～

## 2. 単体 (建設技術者派遣事業)

(百万円)

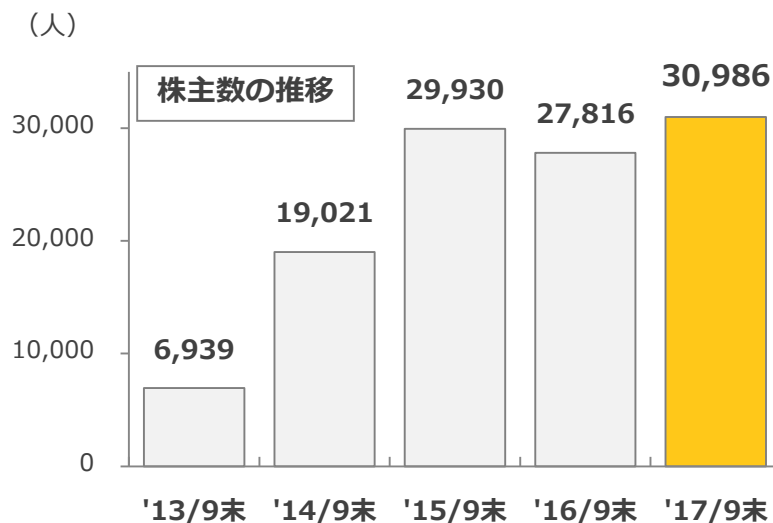
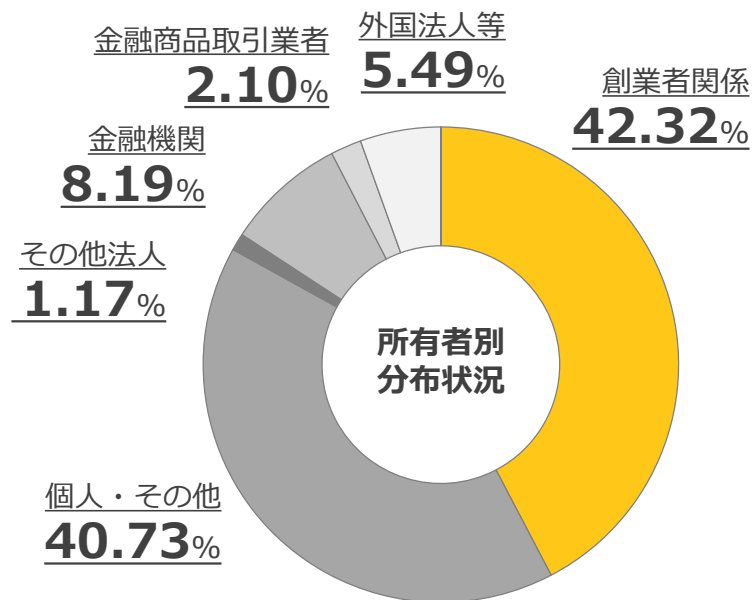
売上高	22,607	28,000	35,000	38,000
営業利益	2,877	4,200	5,200	6,000

# ご参考 (2) 株式の状況

2017年9月30日現在

	株主名	所有株式数 (千株)	所有割合 (%)
1	佐藤 真吾	18,425	24.70
2	佐藤総合企画	12,444	16.69
3	Japan Trustee Services Bank	3,692	4.95
4	The Master Trust Bank of Japan	1,014	1.36
5	Trust & Custody Services Bank	1,009	1.35
6	深井 英樹	880	1.18
7	佐藤 淑子	688	0.92
8	立花証券	631	0.85
9	UBS AG London	429	0.58
10	野村 将博	373	0.50
大株主上位10名合計		39,585	53.08

※ 発行済株式総数=74,573,440株  
自己株式数=86株



# 人と人とのめぐりあいで みんなの夢を真にする



## 免責事項

本資料は、資料作成者が信頼できると判断した情報源から入手した情報に基づいて作成しておりますが、当社および資料作成者はこれらの情報が正確であるとの保証はいたしかねます。情報が不完全または要約されている場合もあります。本資料に記載する価格・数値等は、過去の実績値、概算値あるいは将来の予想値であり、実際とは異なる場合もございます。

本資料は将来の結果をお約束するものではありませんし、資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、当社および資料作成者が責任を負うものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



**JASDAQ**

[お問い合わせ]

〒100-0005

東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビルディング 22F

株式会社 夢真ホールディングス IR室

TEL: 03-3210-1212 FAX: 03-3210-1209

E-mail: ir@yumeshin.co.jp